現 場 説 明 書（技術的事項）

工事名　神辺テニスセンターＬＥＤ照明設備改修工事

１．現場の状況

本工事は 2026 年(令和 8 年)12 月から 2027 年(令和 9 年)2 月の間で行い、その期間中は施設利用を中止とします。

テニスコートの表層は人工芝で構成されているため、施工にあたっては、工事の過程で発生する土砂や砕石などの異物が混入・堆積しないよう、適切な混入防止対策を徹底してください。発生土に関しては、適切な管理方法を監督員と協議してください。また、工事完了後には、重機や車両の通行・旋回等によってテニスコート表層が荒れたり、不陸が生じたりした箇所については、速やかに整地を行い原状回復してください。

２．留意事項

**①地元企業・地場製品の活用**

本工事の受注者は、地元企業・地場製品の活用に努めてください。

**②建設リサイクル法の適用**

本工事は建設リサイクル法に該当します。特定建設資材の再資源化に努めるとともに、建設副産物入力システム（COBRIS）の計画・実施報告書を提出してください。

**③現場代理人及び監理（主任）技術者等の配置**

現場代理人及び監理（主任）技術者は、契約約款及び建設業法等の関係法令に違反しないよう適切に配置し、本工事の施工管理を行ってください。

**④工程管理**

工程管理については施設管理者（以下、「管理者」という。）と十分協議を行い、運営に支障のないよう計画してください。

**⑤安全確保**

工事期間中は職員及び第三者の安全確保に必要な対策を講じてください。

**⑥工事車両の出入り**

路面等を汚損した場合は、速やかに原状復旧を行ってください。

**⑦既存工作物等の保護**

工事で既存工作物等に損傷を与えないように必要な対策を講じてください。損傷を与えた場合には、監督員及び管理者と協議の上、速やかに復旧してください。

**⑧物品の移動**

工事に支障のある物品がある場合は、必ず管理者と協議を行い移動などしてください。

**⑨工事車両の駐車位置**

工事車両の駐車位置は管理者と協議の上、決定してください。

**⑩騒音・振動・粉塵対策**

工事中の重機等による騒音・振動・粉塵等が発生する作業を行う際は十分対策を講じてください。

**⑪高所作業の安全対策**

高所作業となる作業は、適切な安全対策を講じ、転落・墜落災害の防止に努めてください。

**⑫実施工程表の提出**

実施工程表は契約後 14 日以内に提出してください。その際、作業工程については監督員及び管理者と十分に協議調整の上、作成してください。また、施工計画書等も速やかに提出してください。

**⑬官公署への手続き**

工事の施工上、官公署への手続きが必要な場合は、受注者の責任において速やかに行ってください。

**⑭休日及び時間外作業**

休日及び時間外に作業を行う場合は、監督員及び管理者と事前に協議してください。

３．関連工事

無し

# 神辺テニスセンターＬＥＤ照明設備改修工事

図 面 リ ス ト

| 記　号 | 図　面　名　称 | 縮　尺 | 記　号 | 図　面　名　称 | 縮　尺 |
|---|---|---|---|---|---|
| E-00 | 図面リスト | ― | E-13 | 照度分布図４(改修後)　参考図 | 1/150 |
| E-01 | 電気設備特記仕様書 | ― | E-14 | テニスコート舗装特記仕様書 | ― |
| E-02 | 付近見取図・配置図 | Non Scale<br>1/250 | | | |
| E-03 | 盤結線図・屋外灯系統図 | ― | | | |
| E-04 | 照明器具参考図１ | 1/5 | | | |
| E-05 | 照明器具参考図２ | 1/30 | | | |
| E-06 | テニスコート断面詳細図 | 1/15 | | | |
| E-07 | 屋外灯平面図(改修前) | 1/250 | | | |
| E-08 | 屋外灯平面図(改修後) | 1/250 | | | |
| E-09 | 照度分布図(改修前) | Non Scale | | | |
| E-10 | 照度分布図１(改修後)　参考図 | 1/150 | | | |
| E-11 | 照度分布図２(改修後)　参考図 | 1/150 | | | |
| E-12 | 照度分布図３(改修後)　参考図 | 1/150 | | | |

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 神辺テニスセンターＬＥＤ照明設備改修工事 | | 福 山 市 建 設 局 建 築 部 設 備 課 | | | | | | 図面ＮＯ． |
| 図面名称 | 図面リスト | ２０２６年　６月 | 主務 | 課員 | 第1担当次長 | 第2担当次長 | 設備課長 | 建築部長 | E-00 |

# 福山市電気設備工事特記仕様書

Ⅰ　工事概要

1　工事場所　　福山市神辺町字湯野１８５９番地１
2　敷地面積　　４，９００．４７㎡
3　工事種目　　改修
（１）管理棟　ＲＣ造平屋１階建　１５１．８７㎡
（２）
（３）
（４）
（５）

4　工事範囲　（○印のついたものを適用する。）

| 電力設備工事 | | 通信・情報設備工事 | |
|---|---|---|---|
| 1 | 構内配電線路工事 | 1 | 構内通信線路工事 |
| 2 | 動力設備工事 | 2 | 電話設備工事 |
| ③ | 電灯設備工事 | 3 | 情報表示設備工事 |
| 4 | 雷保護設備工事 | 4 | 拡声設備工事 |
| | | 5 | 誘導支援設備工事 |
| | | 6 | インターホン設備工事 |
| 受変電設備工事 | | 7 | テレビ共聴設備工事 |
| 1 | 受変電設備工事 | 8 | 監視カメラ設備工事 |
| | | 9 | 駐車場管制設備工事 |
| 電力貯蔵設備工事 | | 10 | 自動火災報知設備工事 |
| 1 | 直流電源装置設備工事 | 11 | 防犯・入退室管理設備工事 |
| 2 | 交流無停電電源装置設備工事 | | |
| | | 中央監視制御設備工事 | |
| 発電設備工事 | | 1 | 監視制御設備工事 |
| 1 | 発電設備工事（太陽光発電設備工事を除く） | | |
| 2 | 太陽光発電設備工事 | | |

5　消防法に基づく防火対象物　　消防法施行令別表一　（15）項（　）
6　建築基準法施行規則に定める主要用途区分　（　　　）
※　契約締結後１４日以内に実施工程表を提出するものとする。

Ⅱ　工事仕様

① 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の電気設備技術基準、内線規程、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）令和７年版（以下「標準仕様書」という。）、同営繕部設備・環境課監修　公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）令和７年版、改修工事の場合は同営繕部監修　公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）令和７年版による。

2　建築工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、建築工事及び機械設備工事はそれぞれの特記仕様書を適用する。なお、建築工事の特記仕様書は（　　／　　）図、機械設備工事の特記仕様書は（　　／　　）図による。

③ 特記仕様書の適用は次による。
（１）項目は、⊙印の付いたものを適用する。
（２）特記事項は、⊙印の付いたものを適用する。
⊙印の付かないものは、※印の付いたものを適用する。
⊙印と⊗の付いた場合は、共に適用する。
（３）特記事項に記載の（　．　．　）内の表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
なお、標準仕様書において『特記による』と記載されている事項において、特記仕様に記載がない場合は、監督員との協議による。

Ⅲ　福山市電気設備工事仕様

本工事の工期は、建築工事・機械設備工事の工期及び工事検査期間として14日を含んでいる。
本工事は、法定外の労災保険を含んでいる。

① 官公署の手続き
受注者は、発注者が行うとされている関係官公署への必要な手続きを代行する。
（官公署手続きは監督員の承諾後とする。）

2　施工中の安全確保
本工事は、交通誘導員として　●●人を見込んでいる。
交通誘導員の配置については、実施伝票（原本）及び配置状況の分かる立会写真の撮影を行い監督員に提出する。

③ 監理（主任）技術者
現場代理人及び監理（主任）技術者は、工事現場内において工事名、工期、写真、所属会社名及び証明印の入った名札を着用する。

4　別契約の関連工事との調整等
・　施工範囲は「工事区分表」による。
・　別契約の関連工事受注者が足場などを使用する場合は無償とする。
・　別契約の関連工事受注者と工程を含めた総合的な打合せを定期的に行う。

⑤ 施工管理
※　施工体制台帳の写しを提出する。

⑥ 施工図及び施工計画書
提出した施工図及び施工計画書の著作に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。

⑦ 保証書
納入した機器について保証書を提出する。

8　引渡し後点検
・引渡し後点検（第１次点検）　引渡しの概ね１年後
・引渡し後点検（第２次点検）　引渡しの概ね２年後

⑨ 疑義に対する協議等
設計図書に定められた内容に疑義が生じたり、現場の納まり又は取り合い等の関係で、設計図書によることが困難若しくは不都合が生じた場合は、監督員と協議する。

| 章 | | 項目 | 特記事項 |
|---|---|---|---|
| 一般共通事項 | ① | 適用基準等 | 図面、本特記仕様書、標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。<br>・公共住宅建設工事共通仕様書　国土交通省住宅局住宅総合整備課監修（令和四年版）<br>⊙建築基準法、消防法、その他関係法令<br>⊙建設工事公衆災害防止対策要綱(建築工事等編)建設経済局建設業課・住宅局建築指導課監修<br>⊙建築工事安全施工技術指針　建設大臣官房官庁営繕部監督課長通達 |
| | ② | 工事実績情報システム（CORINS）の登録 | 登録　⊙ する　・ しない　（１．１．４）<br>請負金額：500万円以上／工事受注時：契約後10日以内／登録内容の変更時：変更契約後10日以内／工事完成時：工事完成後10日以内<br>※変更登録　工期、技術者等に変更が生じた場合に行う（請負代金のみ変更の場合、登録不要）<br>※期間には、土曜日、日曜日、祝日、年末年始の閉庁日は含まない |
| | ③ | 書面の書式及び取扱い | 情報共有システムの適用及び機能要件　（１．１．５）<br>本工事で利用する情報共有システムは、「広島県工事中情報共有システム」とし、当該サービス提供者との契約は受注者が行い利用料を支払うものとする。<br>運用に当たっては、「福山市発注工事における情報共有システム利用実施要領（建築工事）」及び「情報共有システム利用手引（建築工事）」によるものとする。<br>⊙　発注者指定型<br>共通仮設費として情報共有システムの利用料を見込んでいる。<br>受注者は、本システムを利用できない特別の事由がある場合は、工事着手までに当該事由を記載した工事打合せ簿を監督員に提出し、その承諾を得ることで本システムを利用しないことができる。<br>・　受注者希望型（契約時の請負金額が５００万円以上のものに限る）<br>工事費には情報共有システムの利用料を見込んでいない。<br>本システムの利用を希望する受注者は、工事着手までに工事打合せ簿により、監督員にその旨を申し出て、本システムを利用するものとする。<br>その場合の請負金額の変更については、情報共有システムの利用料を共通仮設費に見込むものとし、本システムの利用を確認した後に変更契約を行うものとする。 |

| 請負金額 | 工事受注時 | 登録内容の変更時 | 工事完成時 |
|---|---|---|---|
| 500万円以上 | 契約後10日以内 | 変更契約後10日以内 | 工事完成後10日以内 |

| 章 | | 項目 | 特記事項 |
|---|---|---|---|
| 一般共通事項 | ④ | 関連法令等の遵守 | 工事の施工に当たり、関係法令等に基づき、円滑な進行を図る。（1.1.13） |
| | 5 | 遠隔臨場の実施 | 遠隔臨場の適用及び実施内容<br>・　適用する<br>実施内容（　・　現場説明書による　・　）（1.1.14） |
| | ⑥ | 実施工程表 | 概成工期<br>⊙ 有り（ ⊙ 現場説明書による　・　）　・ 無し　（１．２．１） |
| | ⑦ | 工事の記録等 | 報告に用いる書式等　（１．２．４）<br>・　現場説明書による　・<br>・　標準仕様書１．２．４（４）により整備する工事写真については次による<br>「営繕工事写真撮影要領による工事写真撮影ガイドブック建築工事編及び解体工事編　令和５年版」国土交通省大臣官房官庁営繕部監修<br>（下表）<br>※完成写真は、写真帳（Ａ４版）を検査後すみやかに提出する。<br>・原版の提出　・する（　・完成時のみ　・全て　）　・しない |
| | 8 | 電気保安技術者 | 配置　（１．３．２）<br>・　する　・　しない |
| | ⑨ | 施工条件 | 標準仕様書１．３．３（１）以外の施工条件　（１．３．３）<br>⊙ 現場説明書による　・<br>・　作業時間は、原則午前８時から午後５時までとし、通学時間帯を考慮する。<br>・　日曜日及び祝日に作業を行わない。ただし、あらかじめ監督員の承諾を受けた場合は、この限りでない。 |
| | ⑩ | 発生材の処理等 | 処理等　（１．３．９）<br>・　発注者に引渡しを要するもの<br>・　現場説明書による　・<br>・　特別管理型産業廃棄物の種類及び処理方法<br>・　現場説明書による　・<br>・　工事現場において再利用及び再資源化を図るもの<br>・　現場説明書による　・<br>※　建設副産物情報交換システム（ＣＯＢＲＩＳ）　（財）日本建設情報総合センター<br>本工事は登録対象工事であるため、受注者は、施工計画時、工事完了時及び登録情報の変更が生じた場合は、速やかに当該システムにデータの登録を行うものとする。<br>また、建設リサイクル法に規定する建設資材を搬入（搬出）する場合は、次表により計画書（実施書）を提出する。なお、これにより難い場合は、監督員と協議する。<br>（下表）<br>※　本工事で発生する建設廃棄物のうち、広島県内の最終処分場に搬入する建設廃棄物については、広島県産業廃棄物埋立税が課税される。<br>なお、本工事では広島県産業廃棄物埋立税相当額を含んでいる。 |
| | ⑪ | 機器材料等 | 機器材料の製造所、製品及び施工業者等は、特記されたもの又は同等以上とする。（１．４．２）<br>ただし、同等以上とする場合は、監督員の承諾を受ける。<br>また、（社）公共建築協会が実施する「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」によって所要の品質・性能を有することの評価を受けた材料・機材等を使用する場合は、評価書の写しを監督員に提出する。（電気標準仕様書による品質及び性能を有する証明となる資料の提出を省略することができる。）<br>工事に使用する機器及び材料は、アスベストを含有しないものとする。 |
| | 12 | 総合試運転調整 | ・　行う（適用箇所：　・　現場説明書による　・　監督員の指示による）　（１．５．５） |
| | ⑬ | 技術検査 | 中間技術検査　（１．６．２）<br>※　工事請負契約締結後、監督員から通知 |
| | ⑭ | 完成時の提出図書 | 提出図書　（１．７．１）<br>※　標準仕様書１．７．２及び１．７．３による　※　工事関係図書　※　監督員が指示したもの |
| | ⑮ | 完成図 | 種類、記入内容等　（１．７．２）<br>※　標準仕様書　１．７．２による<br>提出部数（　１　）部<br>提出仕様（　・　紙ベース　・　電子データ　・　）<br>※　竣工図<br>速やかに次の図書を提出する<br>（ ⊗ 完成図　・　承諾図　⊙　施工図　）<br>・Ａ３判を２つ折りにして製本　（　３　）部<br>⊗電子データ提出（施工図含む）　一式（福山市竣工図電子データ作成要領による。）<br>⊙ＣＡＤデータ（媒体（ＣＤ－Ｒ等）、データ形式等は監督員の指示による。） |
| | 16 | 保全に関する資料 | 作成等　（１．７．３）<br>提出部数（　１　）部<br>提出仕様（　・　紙ベース　・　電子データ　・　） |
| | ⑰ | 電線類 | 特記以外はＥＭ電線・ケーブルを使用する。ケーブルラック・ポール等へ電線類を結束する場合は、綿紐・ビニール被覆バインド線などを使用する。 |
| | 18 | 導入線 | 長さ1m以上の通線を行わない配管には、1.2mm以上の導入線（樹脂被覆鉄線等）を挿入する。 |
| | 19 | ねじなし電線管の使用 | 薄鋼電線管を使用することになっている部分は、同一外径のねじなし電線管を使用してもよい。（ただし、屋外配管布設時はねじなし電線管を使用しない。）<br>溶融亜鉛めっき電線管の接続は防水ねじなしカップリングとする。 |
| | 20 | 屋上スラブ配管その他 | 屋上スラブ内配管は、行わない。（天井のない部分は別途協議する。）<br>スラブ厚の1/4を超える外径の配管（31を超えるもの）は、打込みをさける。<br>盤まわりの配管相互は、30mm以上離し整然と配列する。 |
| | 21 | 合成樹脂可とう電線管 | 特記なき場合は、ＰＦＳ（ＰＦ１重）とする。 |
| | 22 | 防火区画の貫通処理及び予備配管施工 | ・防火区画の貫通部の処理は、建築基準法令に適合する工法とする。<br>・天井内の区画壁には、貫通する予備配管（31）を２本設置する。 |
| | 23 | プレートの材質 | ・ステンレス製　・樹脂製　・新金属　・その他（　） |
| | 24 | カバープレートの表示 | 動力 ㊍　電灯 ㊐　電話 Ⓣ　電気時計 ㊋　インターホン ㋑<br>放送 ㊎　テレビ共聴 Ⓣⓥ　防犯 ㊔　自火報 ㊋　ＯＡ Ⓞⓐ<br>印のシールを貼る。 |
| | 25 | ハンドホール | 構造は完全防水型とし、蓋にゴムパッキンをはめ、４ヶ所をステンレスボルトで締付ける構造とする。ハンドホール内の行先表示板はアクリルプレート掘り込み文字とする。<br>蓋の記号表記（・鋳型流込み　・電力　・電気　・電話　・弱電）<br>既設ハンドホールの作業時は清掃、水抜きを行う。 |
| | ㉖ | 鋼管柱・外灯ポール | 発錆防止のため、コンクリート根巻きを行う。 |
| | 27 | 埋設標示等 | 接地標示板（・黄銅板製　・ステンレス板製）<br>標示柱（・鋳鉄ダクタイル打込柱　・コンクリート柱　・キャッツアイ）<br>標識シート（Ｗシート150mm）（・高圧6600V　・低圧　・その他） |
| | 28 | 埋設深さ | 特記なき場合は、ＧＬ－600以上、舗装のある場合は路盤下－600以上とする。 |
| | ㉙ | 接地工事 | Ａ種接地、Ｂ種接地、Ｃ種接地工事の接地極は、特記なき場合銅板とする。 |
| | 30 | 地中配線 | 地中配線はハンドホール内で余長を取り（1m程度）回路表示をする。 |
| | 31 | 結露防止 | 外気に面する壁、スラブ等で打込みとなる位置ボックスは、保温、結露防止処理を行う。 |
| | 32 | 耐震施工 | 設備機器の固定は「官庁施設の総合耐震・対津波計画基準及び同解説」（平成２５年版・国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）及び「建築設備耐震設計・施工指針」（２０１４年版　一般財団法人日本建築センター発行）による。<br>設備機器の固定は、次に示す設計用地震力に耐える方法とする。<br>ただし、重量1kN以下の軽量な機器については、設備機器の製造者の指定する方法による<br>１）設計用水平地震力は、機器の質量（自由表面を有する水槽類にあっては有効質量）に、地域係数（・　１．０　・　０．９　・　０．８）と、次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。<br>建物の種別（・特定の施設　・一般の施設）<br>重要機器　（・配電盤　・発電設備　・交換機　・直流電源装置<br>・ＵＰＳ装置　・火災報知受信機　・中央監視装置　・　） |

| 分類 | 規格 | 撮影枚数 | 提出部数 |
|---|---|---|---|
| 施工前 | Ｌ版程度（カラー） | 必要に応じた数 | 1 |
| 施工中 | Ｌ版程度（カラー） | 必要に応じた数 | 1 |
| 施工後 | Ｌ版程度（カラー） | 必要に応じた数 | 1 |
| 完成 | Ｌ版程度（カラー） | 各室４面 | 1 |

| | 工事着手前 | 工事完了時 |
|---|---|---|
| 搬入 | 再生資源利用計画書 | 再生資源利用実施書 |
| 搬出 | 再生資源利用促進計画書 | 再生資源利用促進実施書 |

設計用標準水平震度

| 設置場所 | 機器種別 | 特定の施設 重要機器 | 特定の施設 一般機器 | 一般の施設 重要機器 | 一般の施設 一般機器 |
|---|---|---|---|---|---|
| 上層階 屋上及び塔屋 | 機器 | ２．０ | １．５ | １．５ | １．０ |
| | 防振設置機器 | ２．０ | ２．０ | ２．０ | １．５ |
| 中間階 | 機器 | １．５ | １．０ | １．０ | ０．６ |
| | 防振設置機器 | １．５ | １．５ | １．５ | １．０ |
| 地階・１階 | 機器 | １．０ | ０．６ | ０．６ | ０．４ |
| | 防振設置機器 | １．０ | １．０ | １．０ | ０．６ |

上層階とは地階を除く２～６階建の場合は最上階、７～９階建の場合は上層２階、１０～１２階建の場合は上層３、１３階建以上の場合は上層４階とする。
中間階とは地階、１階を除く各階で上層階に該当しないもの。
２）設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の１／２とする。

| 章 | | 項目 | 特記事項 |
|---|---|---|---|
| 一般共通事項 | 33 | 分電盤・配電盤 | 分電盤各回路の名称記入は刻印又はタイプ打ちとし、図面ホルダーを取付、回路図面を挿入する。配線用遮断器の遮断容量は、次の値以上とする。<br>主遮断器の遮断容量は5kA以上とし、分岐用遮断器は、主遮断器フレーム容量が50AF以下の場合 2.5kA以上とし、50AFを超える場合は5kA以上とする。ただし、改修工事等の場合は特記による。チャンネルベースに用いる鉄板厚は3.2mm以上とし、亜鉛めっき処理とする。<br>色彩の決定については監督員の指示による。 |
| | ㉞ | 塗装 | （下表）<br>⊙露出配管の塗装する部分（・居室廊下等　⊙屋外　・ＥＰＳ内　・　）<br>なお取付、塗装後は、傷のつかないように十分養生する。<br>屋外部分の支持金物はステンレス製、又は溶融亜鉛めっき処理とし必要に応じ塗装する。<br>色彩の決定については監督員の指示による。<br>（原則として屋内取付はマンセル値2.5Y9/1、屋外取付は建物に合わせる。） |
| | ㉟ | 施工調査 | 事前調査　調査項目（本工事範囲において着工前に納まり等の調査を行う。） |
| | ㊱ | その他 | ・工事着手に先立ち、設計図面（Ａ３版縮小）製本を提出する。　（　１　）部 |

| 位置ボックス類 | 内面 | 調合ペイント　絶縁ワニス | １回塗り |
|---|---|---|---|
| | 露出 | 調合ペイント | ２回塗り以上 |
| 配管類 | 露出 | 調合ペイント | ２回塗り以上 |
| 支持金具 | 露出 | さび止め・調合ペイント | 各２回塗り以上 |

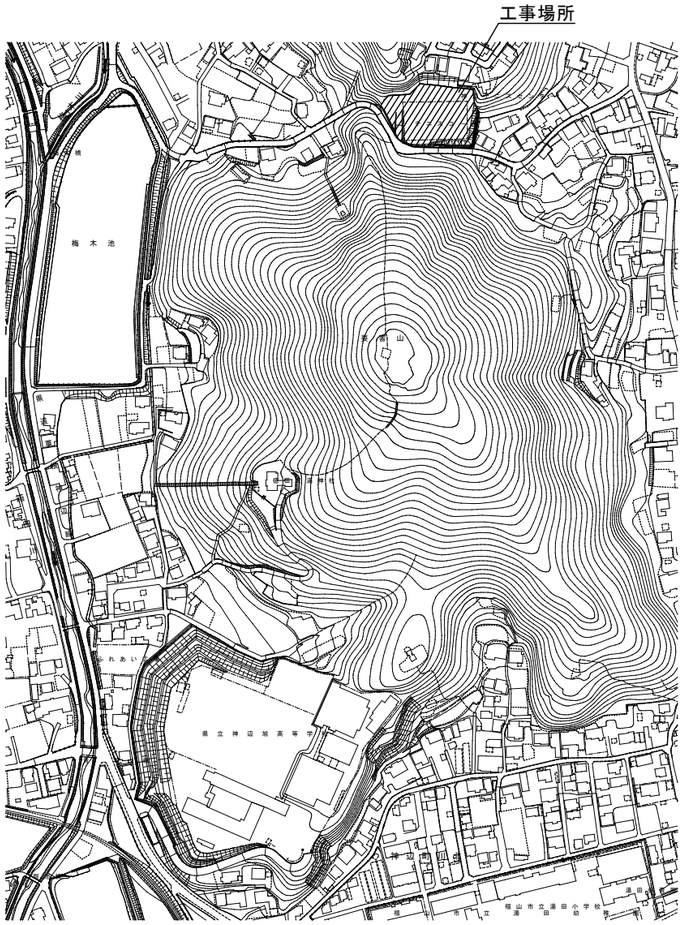
| 章 | | 項目 | 特記事項 |
|---|---|---|---|
| 仮設工事 | ① | 工事現場仮囲い | ・ナイロンロープ張り　・木製仮囲い　・鋼板仮囲い　⊙その他（三角コーン表示） |
| | 2 | 受注者事務所等 | ・敷地内へ建てることができる。　・できない |
| | ③ | 工事用水 | 構内既存の施設　・有償で利用できる　・無償で利用できる　⊙利用できない |
| | ④ | 工事用電力 | 構内既存の施設　・有償で利用できる　・無償で利用できる　⊙利用できない |
| | ⑤ | 引渡しまでの光熱費 | ・本引込みより引渡しまでの基本料金　⊙受注者負担　・別途<br>・本引込みより引渡しまでの使用料金　⊙受注者負担　・別途 |

| 章 | | | 項目 | 特記事項 |
|---|---|---|---|---|
| 電力設備工事 | 1 構内配電線路 | 1 | 電気方式 | ・三相3線式　・6.6kV　・400V　・200V<br>・単相3線式　100/200V<br>・単相2線式　・100V　・200V |
| | | 2 | 施工方法 | ・地中配線（・ＦＥＰ　・ＨＩＶＥ　・その他　）<br>・架空配線　電柱（　・遠心力鉄筋コンクリート柱　・鋼管柱　・　）<br>支線（　・要　・不要　）　支柱（　・要　・不要） |
| | | 3 | その他 | ・構内柱に所有者名を表示する。 |
| | ② 幹線動力設備 | ① | 電気方式 | 幹線　・三相3線式　V　⊙単相3線式 100/200 V<br>分岐　・三相3線式　V　⊙単相2線式 100/200 V |
| | | 2 | 機器への接続等 | ・電動機等への接続　・本工事　・別途工事<br>・動力コンセント設置の場合はプラグ付とする。<br>・ＰＳ内及び主要個所へは、幹線名称を表示する。 |
| | ③ 電灯コンセント設備 | ① | 電気方式 | ⊙単相2線式100V　・単相2線式200V　・直流2線式100V　・単相3線式100/200V |
| | | 2 | 機器・器具類 | ４連以上のスイッチは、ネーム付きとする。<br>換気扇及び天井扇は、パイロットランプ、ネーム付きとする。<br>ハイテンションアウトレットは次による。（・外部固定　・上下動型　・　）<br>平行型以外のコンセントはプラグ付きとする。<br>コンセントのプレートは回路番号を表示する。 |
| | ④ 照明器具供給取付 | ① | 照明器具 | 特記なき場合は、LED照明器具とする。<br>湿気のある場所に設置する器具は全て接地する。<br>上記以外は特記による。 |
| | | 2 | 非常照明 | 光源はLED光源とし、「非常用照明器具技術基準（JIL5501)」による。<br>・電池内蔵型　・電源別置型 |
| | | 3 | 誘導灯 | 「誘導灯器具及び避難誘導システム用装置技術基準（JIL5502）」による。 |
| | | ④ | 照度測定 | ・非常照明　（　・測定（　）個所　・設置した各部屋　２ヶ所以上　）<br>⊙一般照明　監督員と協議による。 |
| | | 5 | 予備品等 | 予備品は製造者の標準品一式とする。 |
| | 5 雷保護設備 | 1 | 工事範囲 | ・配管　・配線　・受雷部取付　・接地極埋設 |
| | | 2 | 受雷部 | ・突針　・棟上げ導体　・金属製手すり（別途）等 |
| | | 3 | 避雷導体 | ・建築構造体利用　・引下げ導体 |
| | | 4 | 接地極 | ・建築構造体利用<br>（建築基礎完了時等、構造体の接地抵抗を測定し、測定表を監督員に提出する。）<br>・接地極埋設　試験用接続端子箱取付 |
| | | 5 | 仕様詳細 | ・別図避雷設備仕様（　／　図）による。 |
| | | 6 | 適用規格 | ・JIS Z 9290-3:2019 |
| 受変電設備工事 | 1 受変電設備 | 1 | 電気方式 | 一次電圧　三相3線式　6.6kV<br>二次電圧　・三相3線式400V　・三相3線式200V　・単相3線式100/200V<br>受電設備容量　・動力（　）kVA　・電灯（　）kVA |
| | | 2 | 配電盤構造 | ・キュービクル式配電盤（　・屋外型ＳＵＳ屋根　・屋内型　）　・開放型配電盤 |
| | | 3 | 主遮断装置 | ・ＰＦ－Ｓ　・ＣＢ　・（　） |
| | | 4 | 機器類 | 変圧器（自冷式、最大値残針付温度計）　・油入　・モールド<br>進相コンデンサ（保護接点、放電装置付）　・油入　・モールド　・ガス絶縁式<br>リアクトル（警報接点付）　・油入　・モールド　容量（　）％ |
| | | 5 | 計器類 | ・機械式（広角度目盛）　・電子式（最大需要電流計は電気式のみ）<br>・最大値残針付　・警報接点付 |
| | | 6 | デマンド監視装置 | ・本工事　・別途工事　・なし |
| | | 7 | 盤内取付装置 | ・換気扇（サーモ付）　・照明（　・扉連動スイッチ　・手動　）　・（　）<br>※キュービクル内部温度が４０℃以内となるよう換気計算を行う。（周囲温度t₀：34.1℃）<br>参考：日本配電制御システム工業会規格 |
| | | 8 | 仕様詳細 | ・別図受変電設備仕様（　／　図）による。 |
| | | 9 | 予備品 | ・電気標準仕様書によるほか電力ヒューズ現用定格値のものを現用数とする。 |
| 電力貯蔵設備工事 | 1 直流電源装置 | 1 | 工事範囲 | ・配管　・配線　・機器取付 |
| | | 2 | 用途 | ・非常照明器具用電源　・受変電設備制御用電源　・監視盤用電源 |
| | | 3 | 蓄電池 | ・ＨＳ型鉛蓄電池（　）Ah　・ＭＳＥ型鉛蓄電池（　）Ah<br>・リチウム二次電池（　）Ah　・＿＿＿蓄電池（　）Ah |
| | | 4 | 仕様詳細 | ・別図直流電源設備仕様（　／　図）による。 |
| | | 5 | 予備品 | 予備品は製造者の標準品一式とする。 |
| | 2 交流無停電電源装置 | 1 | 工事範囲 | ・配管　・配線　・機器取付 |
| | | 2 | ＵＰＳ | ・常時インバータ給電方式　・ラインインタラクティブ方式　・常時商用給電方式<br>・簡易形 |
| | | 3 | 用途 | ・（　） |
| | | 4 | 出力電気方式 | ・単相2線式　・単相3線式　・三相3線式 |
| | | 5 | 出力電圧 | ・100V　・100/200V　・200V |
| | | 6 | 定格出力 | （　）kVA　（　分補償） |
| | | 7 | 蓄電池 | ・ＨＳ型鉛蓄電池（　）Ah　・ＭＳＥ型鉛蓄電池（　）Ah　・　蓄電池（　）Ah |
| | | 8 | 予備品 | 予備品は製造者の標準品一式とする。 |

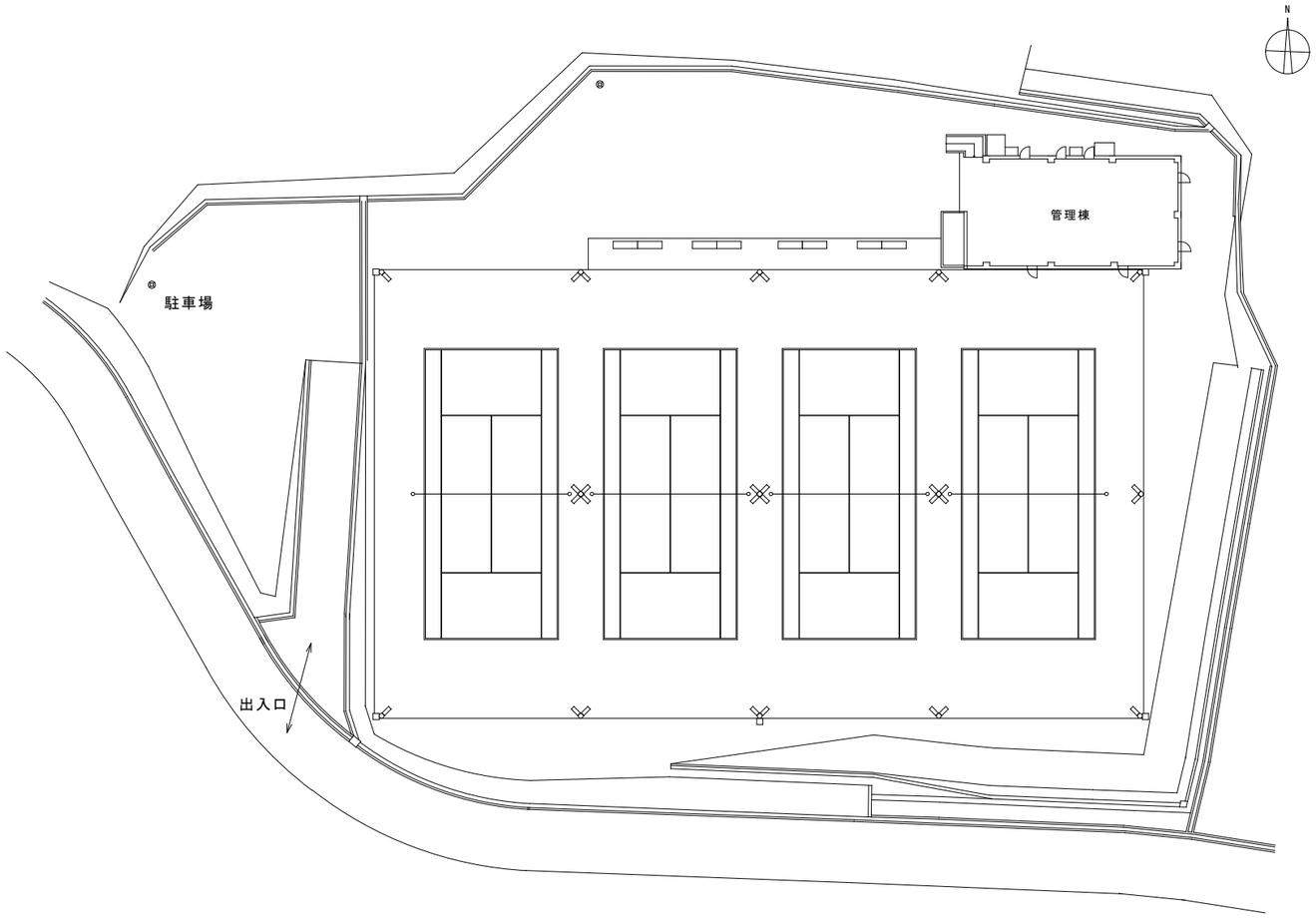
| 章 | | | 項目 | 特記事項 |
|---|---|---|---|---|
| 発電設備工事 | 1 発電設備（太陽光発電設備を除く） | 1 | 工事範囲 | ・配管　・配線　・機器取付 |
| | | 2 | 発電方式 | ・ディーゼル　・ガスエンジン　・ガスタービン　・マイクロガスタービン<br>・燃料電池　・コージェネレーション　・風力　・（　） |
| | | 3 | 出力電気方式 | ・単相2線式　・単相3線式　・三相3線式 |
| | | 4 | 出力電圧 | ・6.6kV　・105V　・210V |
| | | 5 | 機器能力 | ・発電能力（　）kVA以上　・排熱回収（　）kcal以上 |
| | | 6 | 原動機出力 | （　）kW以上 |
| | | 7 | 始動方式 | ・電気始動方式　・空気始動方式 |
| | | 8 | 構造 | ・キュービクル形（　・屋外型ＳＵＳ屋根　・屋内型　）　・オープン形 |
| | | 9 | 防油堤 | ・本工事（　・コンクリート製　・鋼鈑製　）　・別途工事 |
| | | 10 | 燃料 | ・Ａ重油　・軽油　・灯油　・都市ガス　・液化石油ガス |
| | | 11 | 仕様詳細 | ・別図発電設備仕様（　／　図）による。 |
| | | 12 | 予備品 | 予備品は製造者の標準品一式とする。 |
| | 2 太陽光発電設備 | | | 建築基準法に基づき風圧荷重計算等の算定には次の条件を用いる。<br>設計用基準風速　$V_o$：32m/s<br>その他の係数は　風圧用途係数Ｉ：1.16（通常1.0極めて重要な太陽光発電1.32）<br>地表面粗度区分：Ⅰ（極めて平坦で障害物がない場合の数値）<br>地上垂直積雪量$Z_s$：0.3m（福山地区）<br>地震地域係数Z：1.0（1.0～0.7）<br>地震用途係数Ｉ：1.25（通常1.0極めて重要な太陽光発電1.5）<br>仕様詳細は別図発電設備仕様（　／　図）による。 |
| 通信・情報設備工事 | 1 構内通信線路 | 1 | 地中配線 | ・ＦＥＰ　・ＨＩＶＥ　・その他（　） |
| | | 2 | 架空配線 | 電柱（　・遠心力鉄筋コンクリート柱　・鋼管柱　・　）<br>支線（　・要　・不要　） |
| | 2 電話設備 | 1 | 工事範囲 | ・配管　・配線　（　・端子盤間ケーブル　・電話機用ケーブル　）<br>・機器取付（　・端子盤　・交換機　・電話機　） |
| | | 2 | アウトレット | ・ノズルプレート　・モジュラー（　・2P　・4P　・　P　） |
| | | 3 | 機器仕様詳細 | ・別図電話設備仕様（　／　図）による。 |
| | 3 情報表示設備 | 1 | 工事範囲 | ・配管　・配線　・機器等取付 |
| | | 2 | 電気時計 | 親時計（　・水晶式（時刻規正機構付）　・　）<br>・壁掛型（　）回線　・キャビネット収容型（　）回線　・（　）（　）回線<br>子時計<br>・壁掛式　・壁埋込式 |
| | | 3 | 表示装置 | 表示盤<br>・発光ダイオード式　・マグネットユニット式　・プラズマ式　・液晶式 |
| | | 4 | 仕様詳細 | ・別図情報表示設備仕様（　／　図）による。 |
| | | 5 | 予備品 | 予備品は製造者の標準品一式とする。 |
| | 4 拡声設備 | 1 | 工事範囲 | ・配管　・配線　・機器等取付 |
| | | 2 | 増幅器 | ・非常放送　局　W（　・専用　・業務用兼用　）　・一般放送　局　W<br>・卓上型　・壁掛型　・ラック収容型　・デスク型（　・片袖型　・両袖型　） |
| | | 3 | スピーカ | ・壁掛型　W　・天井型　W　・屋外ホーン型　W　・　W |
| | | 4 | 機器仕様詳細 | ・別図拡声設備仕様（　／　図）による。 |
| | 5 誘導支援設備 | 1 | 工事範囲 | ・配管　・配線　・機器等取付 |
| | | 2 | 誘導支援装置 | ・音声誘導　・身障者用インターホン　・トイレ呼出装置 |
| | | 3 | 仕様詳細 | ・別図誘導支援設備仕様（　／　図）による。 |
| | 6 インターホン設備 | 1 | 工事範囲 | ・配管　・配線　・機器等取付 |
| | | 2 | 電源 | ・AC100V　・乾電池 |
| | | 3 | 型式 | ・親子式　・相互式　・住戸用自火報式<br>・テレビ（　・有　・無　） |
| | | 4 | 通話方式 | ・同時通話式　・交互通話式 |
| | | 5 | 機器仕様詳細 | ・別図インターホン設備仕様（　／　図）による。 |
| | 7 テレビ共聴設備 | 1 | 工事範囲 | ・配管　・配線　・機器等取付 |
| | | 2 | 機器類 | ・一般用　・共聴用　・ＢＬ優良住宅部品　・ＮＨＫ仕様適合品 |
| | | 3 | 受信波 | ・ＵＨＦ　・ＢＳ　・ＣＳ　・ＣＡＴＶ |
| | | 4 | 増幅器 | ・Ｕ（　dB）　・ＢＳ（　dB） |
| | | 5 | 電界強度測定 | ・要（・受信レベル　・ＢＥＲ　・ＭＥＲ）　・不要 |
| | | 6 | 機器仕様詳細 | ・別図テレビ共聴設備仕様（　／　図）による。 |
| | | 7 | その他 | 分岐器、分配器、直列ユニット等はＵ・ＢＳ共用型とし、直列ユニットには75Ωのプラグを附属する。<br>・4K、8K対応機器（周波数帯域3,224MHzに対応した機器）を使用する。<br>（増幅器、分配器、テレビ端子等） |
| | 8 監視カメラ設備 | 1 | 工事範囲 | ・配管　・配線　・機器等取付 |
| | | 2 | 仕様詳細 | ・別図監視カメラ設備仕様（　／　図）による。 |
| | | 3 | 予備品 | 予備品は製造者の標準品一式とする。 |
| | 9 駐車場管制設備 | 1 | 工事範囲 | ・配管　・配線　・機器等取付 |
| | | 2 | 検知器 | ・光電式　・ループコイル式 |
| | | 3 | 仕様詳細 | ・別図駐車場管制装置仕様（　／　図）による。 |
| | | 4 | 予備品 | 予備品は製造者の標準品一式とする。 |
| | 10 自動火災報知設備 | 1 | 工事範囲 | ・配管　・配線　・機器等取付　・音声合成登録 |
| | | 2 | 火災報知設備 | ・単独型　・複合型　・自立型　・壁掛式 |
| | | | 受信機 | 火災報知設備受信機（　）型（　）級（　）回線　・副受信機（　）回線<br>機能（　・蓄積式　・住戸型　） |
| | | | 連動設備 | 連動（　・非常放送　・消火栓　・誘導灯　・電気錠　・光警報　・　）<br>送受話器（　）台<br>警報区域一覧図（　・アクリルエッチング　・カラーコピー　・　）<br>表示警戒区域銘板は白地黒文字エッチングとする。（Ｒ型は除く） |
| | | 3 | 連動操作装置 | 連動制御器（　）回線（遠方復帰機構（　）回線（　））<br>制御内容（　・防火戸用　・防火ダンパ用　・防火シャッター用　・防煙垂れ壁用　） |
| | | 4 | 非常警報装置 | ・一体型　・複合装置型 |
| | | 5 | その他消防設備 | ・非常通報設備　・漏電火災警報設備　・ |
| | | 6 | ガス漏れ警報装置 | ・受信機（　）回線（　・ＬＰガス用　・都市ガス用　） |
| | | 7 | LPガス漏れ遮断設備 | ・遮断弁制御器（　）台 |
| | 11 防犯・入退室管理設備 | 1 | 仕様詳細 | ・別図防犯設備仕様（　／　図）による。<br>・別図入退室管理設備仕様（　／　図）による。 |
| | | 2 | 工事範囲 | ・配管　・配線　・機器等取付 |
| 中央監視制御設備工事 | 1 監視制御設備 | 1 | 工事範囲 | ・配管　・配線　・機器取付 |
| | | 2 | 監視方式 | ・警報盤　・監視制御装置 |
| | | 3 | 監視制御方式 | ・監視操作装置（　・グラフィックパネル　・液晶ディスプレイ（汎用ＰＣ）　）<br>・信号処理装置（　）<br>・記録装置　（　） |
| | | 4 | 交流無停電電源装置 | ・製造者の標準とする。 |
| | | 5 | 仕様詳細 | ・別図中央監視制御設備仕様（　／　図）による。 |
| | | 6 | 予備品 | 予備品は製造者の標準品一式とする。 |

Ver.2512

| 福山市電気設備工事特記仕様書 | | |
|---|---|---|
| 2026年 6月<br>福山市建設局建築部設備課 | 神辺テニスセンターＬＥＤ照明設備改修工事 | E-01 |



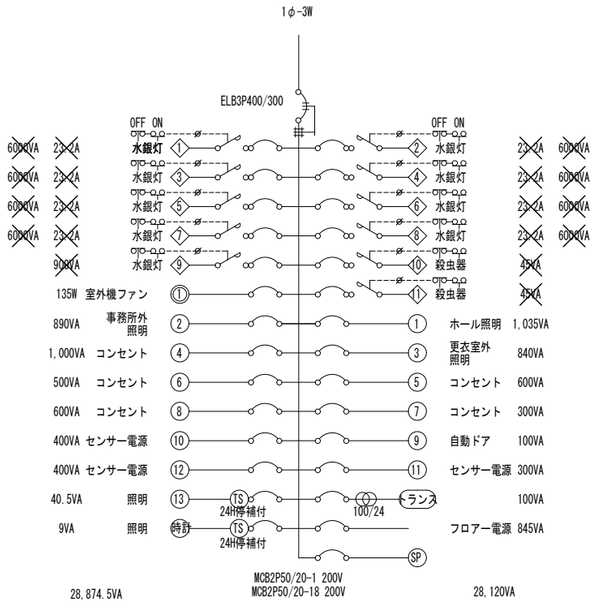

付近見取図 Non Scale




配置図 1/250

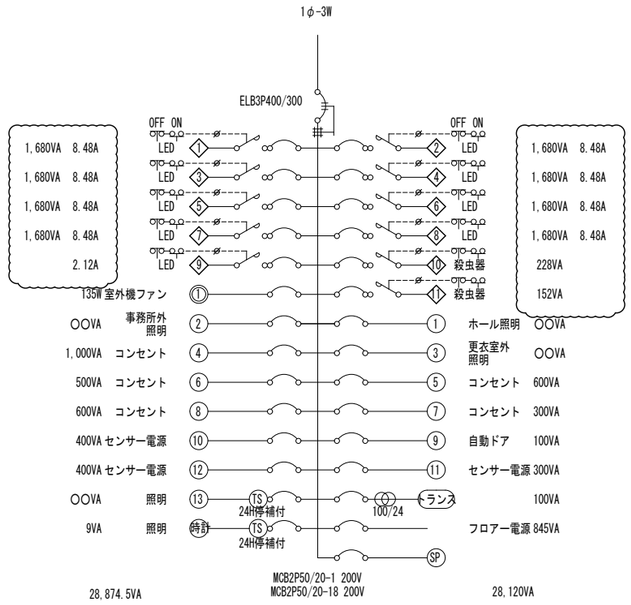
| 縮尺率 | |
|---|---|
| | A-1：100% |
| | A-2： 71% |
| | A-3： 50% |

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 神辺テニスセンターＬＥＤ照明設備改修工事 | | | 福山市建設局建築部設備課 | | | | | | 図面ＮＯ． |
| 図面名称 | 付近見取図・配置図 | 縮尺 | Non Scale<br>1/250 | ２０２６年６月 | 主務 | 課員 | 第1担当次長 | 第2担当次長 | 設備課長 | 建築部長 | E-02 |



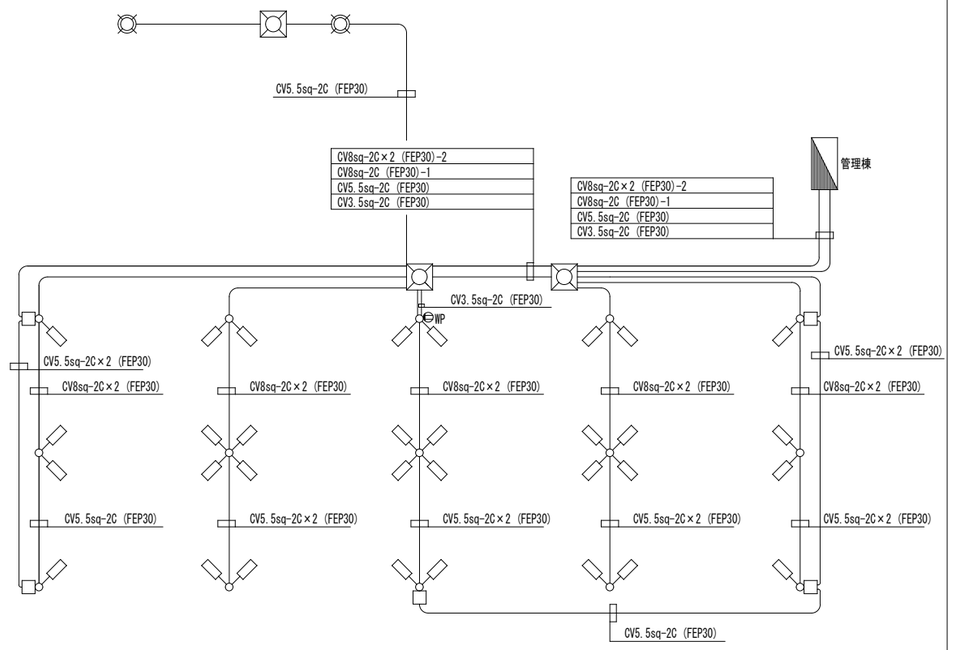

## 単線結線図

（改修前）




## 単線結線図

（改修後）




## 屋外灯系統図

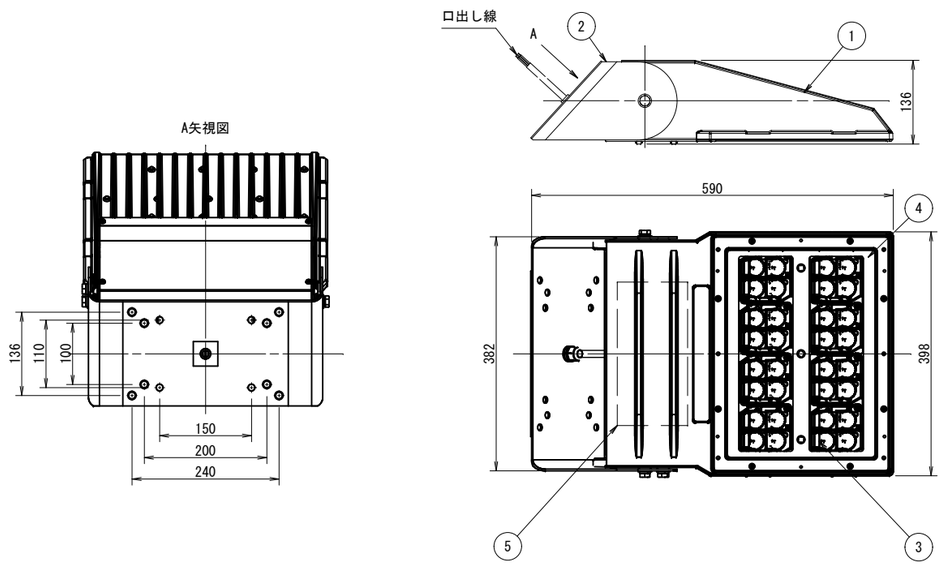
注　記

1. 配線・配管は既設を流用するものとする。
　但し、鋼管ポール内は新設とする。（E-09参照）

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 神辺テニスセンターＬＥＤ照明設備改修工事 | | 福 山 市 建 設 局 建 築 部 設 備 課 | | | | | | | 図面ＮＯ． |
| 図面名称 | 盤結線図<br>屋外灯系統図 | ２０２６年　６月 | 主務 | 課員 | 第1担当次長 | 第2担当次長 | 設備課長 | 建築部長 | | E-03 |

# 照 明 機 器 参 考 図　S=1/5

## LEDテニスコート専用器具
400ｸﾗｽ




| 部番 | 部 品 名 | 材質・材厚 | 数 | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 本体 | アルミダイカスト | 1 | 塗装 |
| 2 | 取付台座 | ステンレス t3 | 1 | 塗装 |
| 3 | 反射鏡 | アルミダイカスト | 8 | 鏡面仕上 |
| 4 | 前面カバー | 強化ガラス t4 | 1 | 透明 |
| 5 | 電源装置 | 組込品 | 1 | |

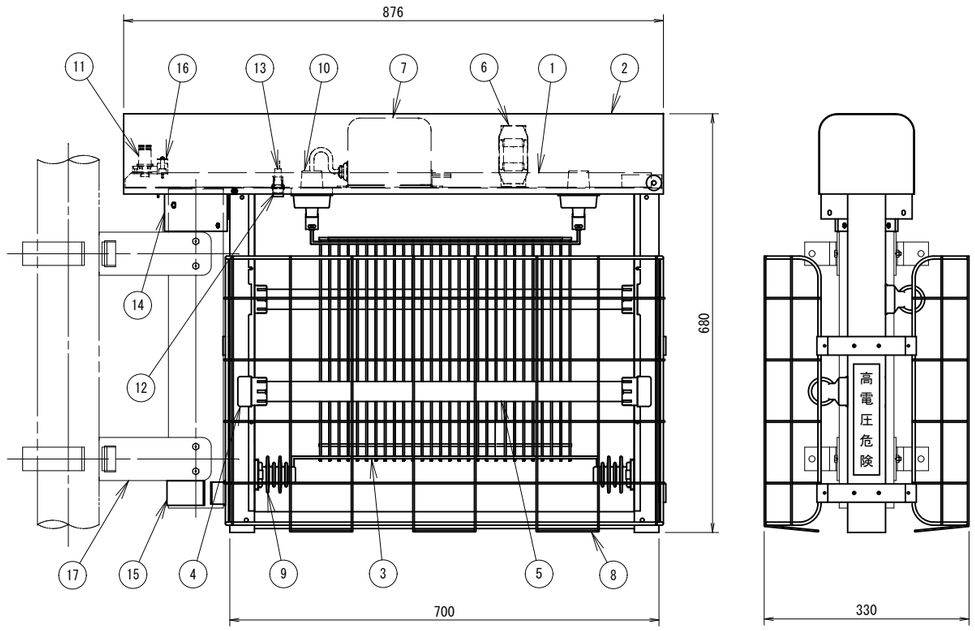
| | |
|---|---|
| 光源色 | 昼白色（5000K） |
| LEDモジュール寿命 | 40000時間（光束維持率95%） |
| 定格光束 | 57400lm |
| 平均演色評価数 | Ra 70 |
| 保護等級 | IP65 |
| 仕上色 | ダークグレー（重耐塩塗装） |

初期照度補正機能付き

電気特性表

| 入力電圧（Ｖ） | 周波数（Hz） | 入力電流（Ａ） | | | 入力電力（Ｗ） | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 点灯初期時（最小値） | 点灯４万時間経過時（最大値） | 点灯４万時間平均値 | 点灯初期時（最小値） | 点灯４万時間経過時（最大値） | 点灯４万時間平均値 |
| 200 | 50 / 60 | 2.00 | 2.12 | 2.06 | 397 | 420 | 409 |

## 電撃殺虫器
鋼管柱取付形




| 部番 | 部 品 名 | 材質・材厚 | 数 | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 本　体 | 鋼板t1.6 | 1 | メラミン塗装 |
| 2 | カバー | 鋼板t1.0 | 1 | メラミン塗装 |
| 3 | 電撃格子 | ステンレス線材 | 2 | |
| 4 | ソケット | PBT | 4 | 防浸型 |
| 5 | 捕虫用ランプ | | 2 | FL30SBL |
| 6 | 安定器 | | 2 | 30W用 |
| 7 | 高圧トランス | | 1 | |
| 8 | 保護格子 | 軟鋼線材 | 2 | ビニールコーティング(白) |
| 9 | 高圧碍子 | 磁器 | 4 | |
| 10 | 高圧貫通碍子 | 磁器 | 2 | |
| 11 | グロースタータ | | 2 | FG1P |
| 12 | パイロットランプ | | 1 | |
| 13 | ヒューズホルダ | フェノール樹脂 | 1 | 15A 250V(ヒューズ５Ａ) |
| 14 | ポールヘッド金具 | 鋼管 | 1 | メラミン塗装 |
| 15 | ポール支持金具 | 鋼板t2.0 | 1 | メラミン塗装 |
| 16 | 自動点滅用端子台 | 樹脂 | 1 | |
| 17 | 取付金具 | 鋼管、鋼板 | 1 | |

| | |
|---|---|
| 保護等級 | IP23 |
| 仕上色 | グレー全艶　(近似マンセル N7) |

電気特性表

| 入力電圧（Ｖ） | 周波数（Hz） | 入力電流（Ａ） | 入力電力（Ｗ） | 二次側電圧（Ｖ） |
|---|---|---|---|---|
| 100 | 50 / 60 | 2.3 / 2.2 | 70 / 57 | 6700 / 7000 |
| 200 | | 1.3 / 1.2 | 76 / 63 | |

備　　考

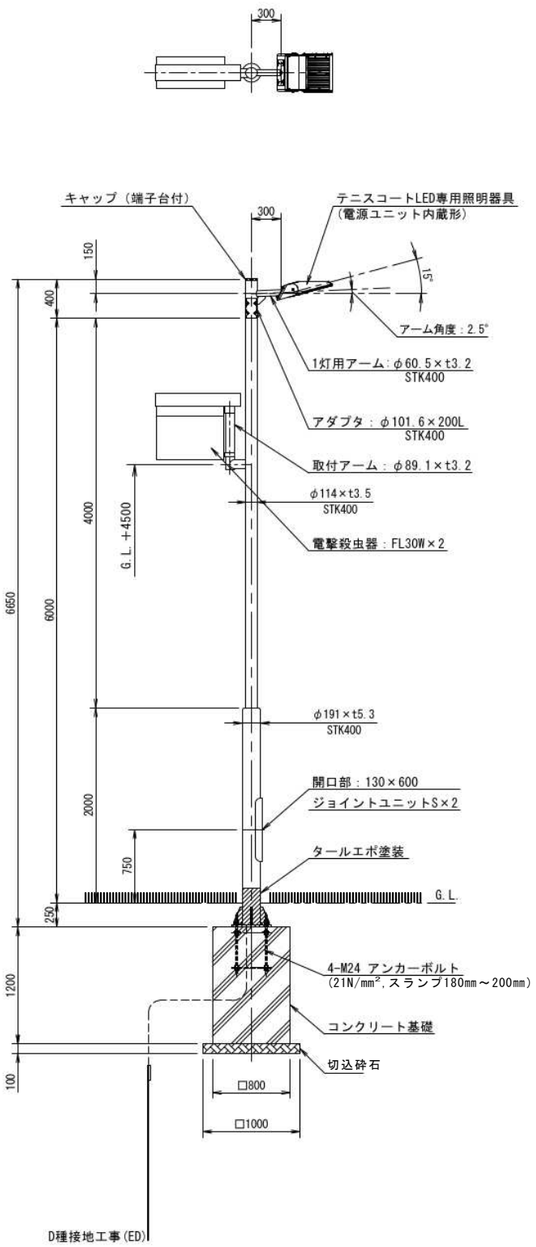
1）電撃殺虫器取付適合ポールについては、取付アームの寸法を参考とする。(E-05参照)

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 神辺テニスセンターＬＥＤ照明設備改修工事 | | 福 山 市 建 設 局 建 築 部 設 備 課 | | | | | | | 図面ＮＯ． |
| 図面名称 | 照明器具参考図１　縮尺　1／5 | ２０２６年６月 | 主務 | 課員 | 第1担当次長 | 第2担当次長 | 設備課長 | 建築部長 | | E-04 |

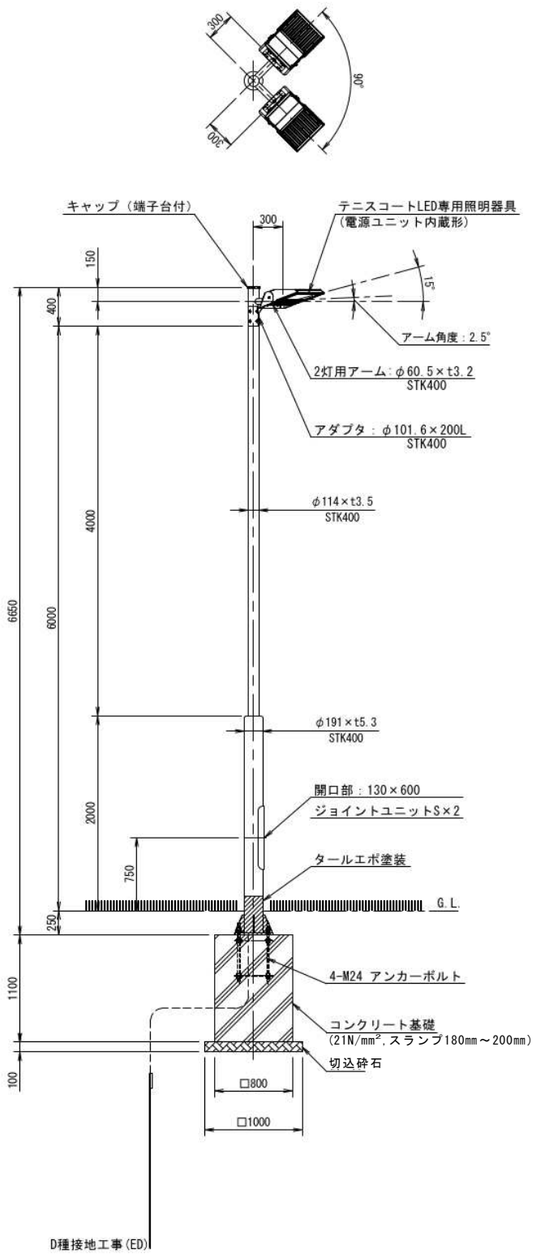
# 照 明 機 器 参 考 図　S=1/30

## （神辺テニスコート）

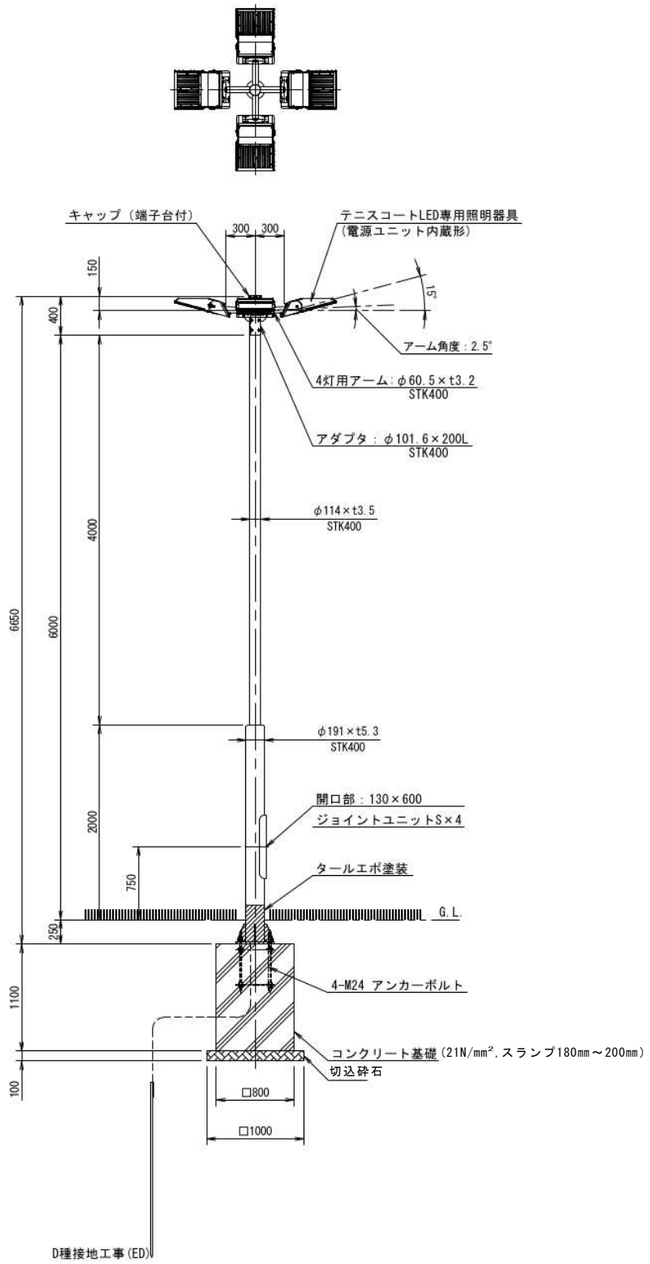
### 1灯用＋電撃殺虫器付




### 2灯用（90° 開き）



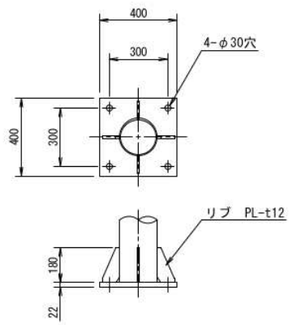

### 4灯用



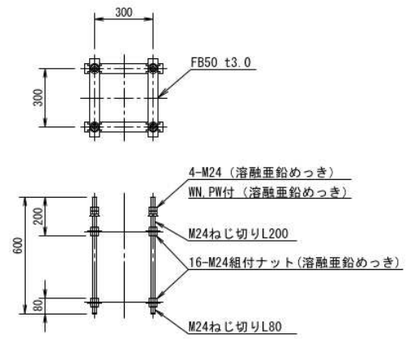

ポール仕様
・仕上：メッキ後指定色塗装

ベースプレート仕様
・仕上：タールエポ塗装

### ﾍﾞｰｽﾌﾟﾚｰﾄ詳細図　S=1/15

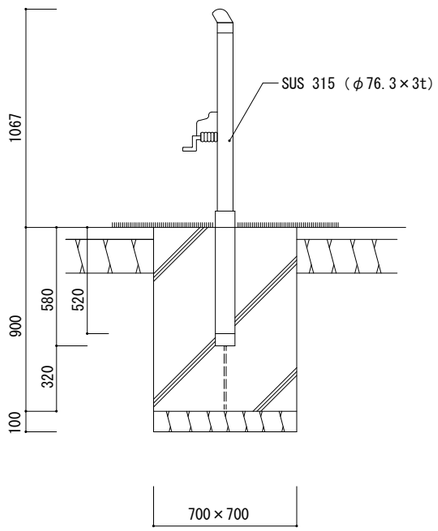



### ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ詳細図　S=1/15



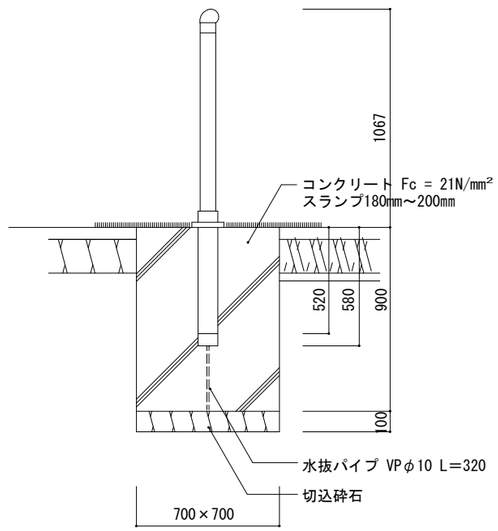

注　記
1. アスファルトは既設と同等の厚みとし、監督員と協議の上、決定とする。
2. ポール指定色に関しては、監督員と協議の上、決定とする。

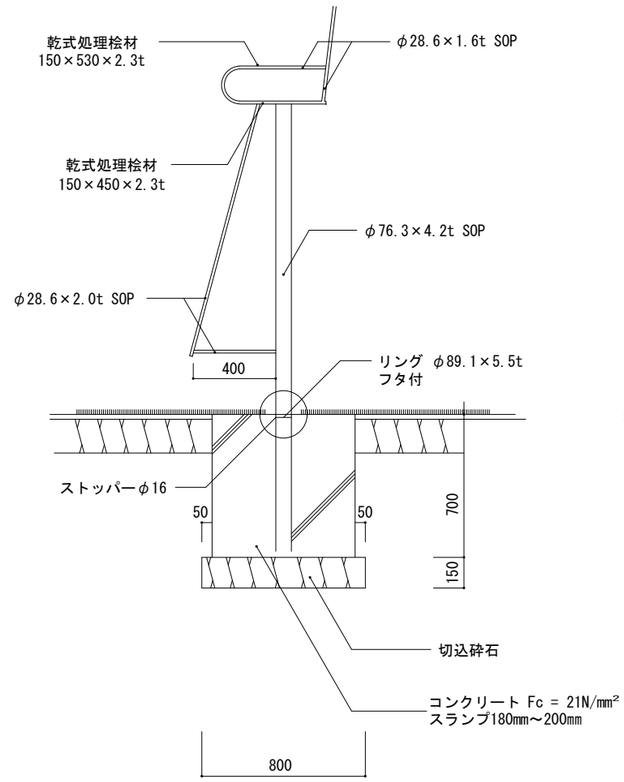
| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 工 事 名 | 神辺テニスセンターＬＥＤ照明設備改修工事 | | 福 山 市 建 設 局 建 築 部 設 備 課 | | | | | | | 図面ＮＯ． |
| 図面名称 | 照明器具参考図２　縮尺　１／３０ | ２０２６年６月 | 主務 | 課員 | 第1担当次長 | 第2担当次長 | 設備課長 | 建築部長 | | E-05 |

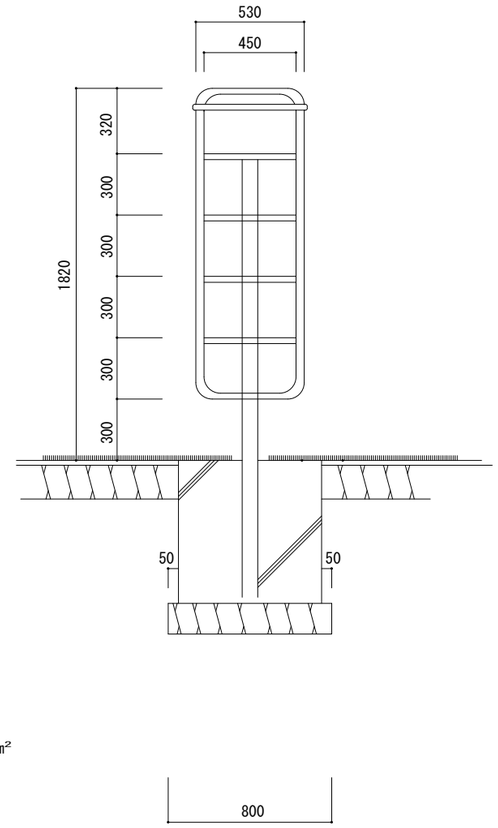



ネットポスト

断面図　1/15




審判台

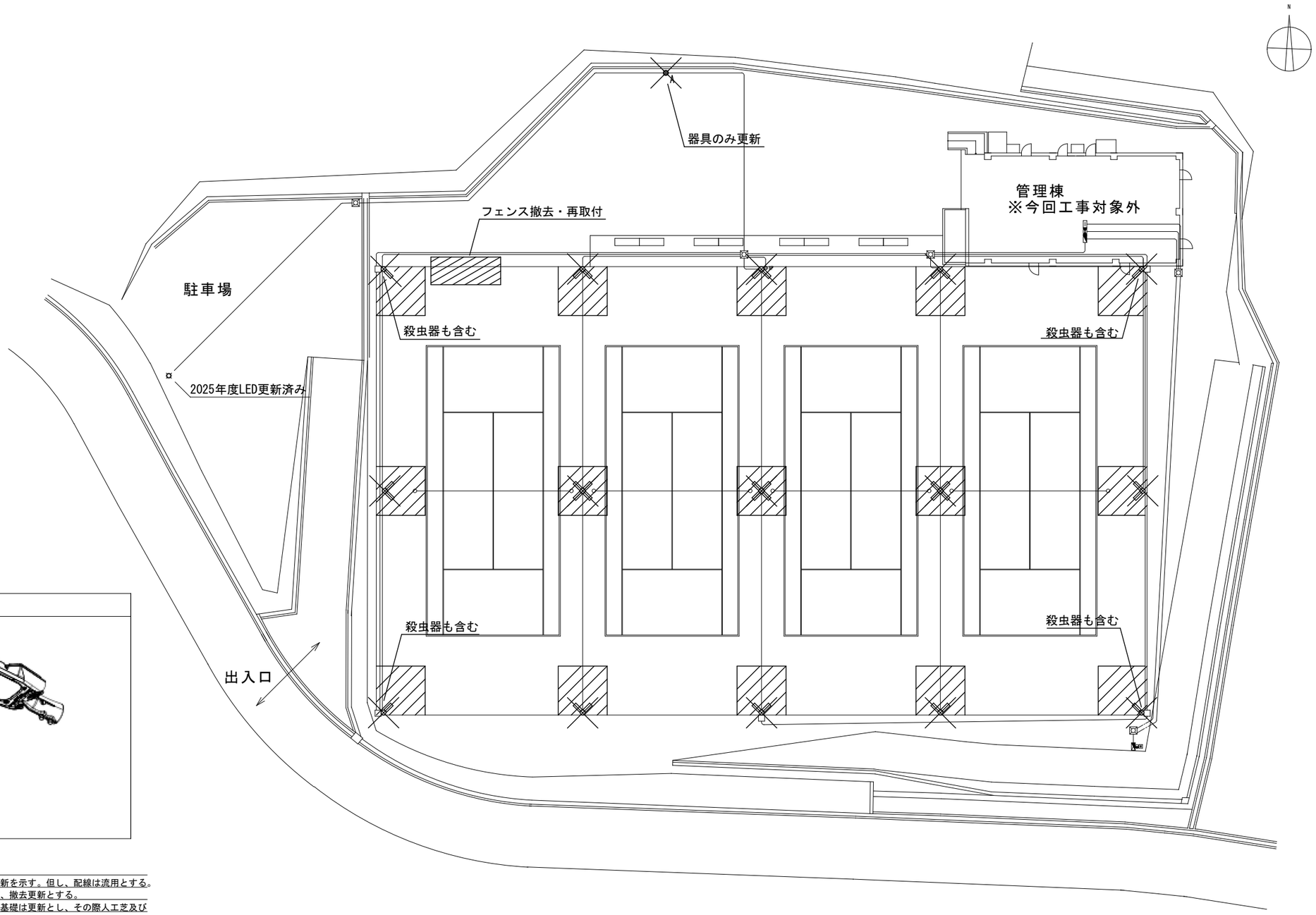
断面図　1/15

注　記

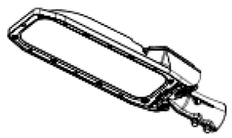
1）テニスコート表層仕上工事
　テニスコート表層仕上材は砂入人工芝（ナイロン糸、非透水型L=19m/m
　とし砂入り人工芝施工前に、下地アスコン層の水張りを行い不陸がある
　場合、一次不陸修正（レベリングマスチック材にて）を行う。

2）ネットポストおよび審判台に関しては、撤去・再取付とする。
　保管場所は監督員と協議とする。

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 工事名 | 神辺テニスセンターＬＥＤ照明設備改修工事 | | 福山市建設局建築部設備課 | | | | | | | 図面ＮＯ． |
| 図面名称 | テニスコート詳細断面図　縮尺　１／１５ | ２０２６年６月 | 主務 | 課員 | 第1担当次長 | 第2担当次長 | 設備課長 | 建築部長 | | E-06 |




| A | 駐車場用照明 |
|---|---|



器具光束：8400lm　昼白色5000K
電源：AC100～240V　50/60Hz
消費電力：52.7W
保護等級：IP23　Ra70
取付：アームポール形

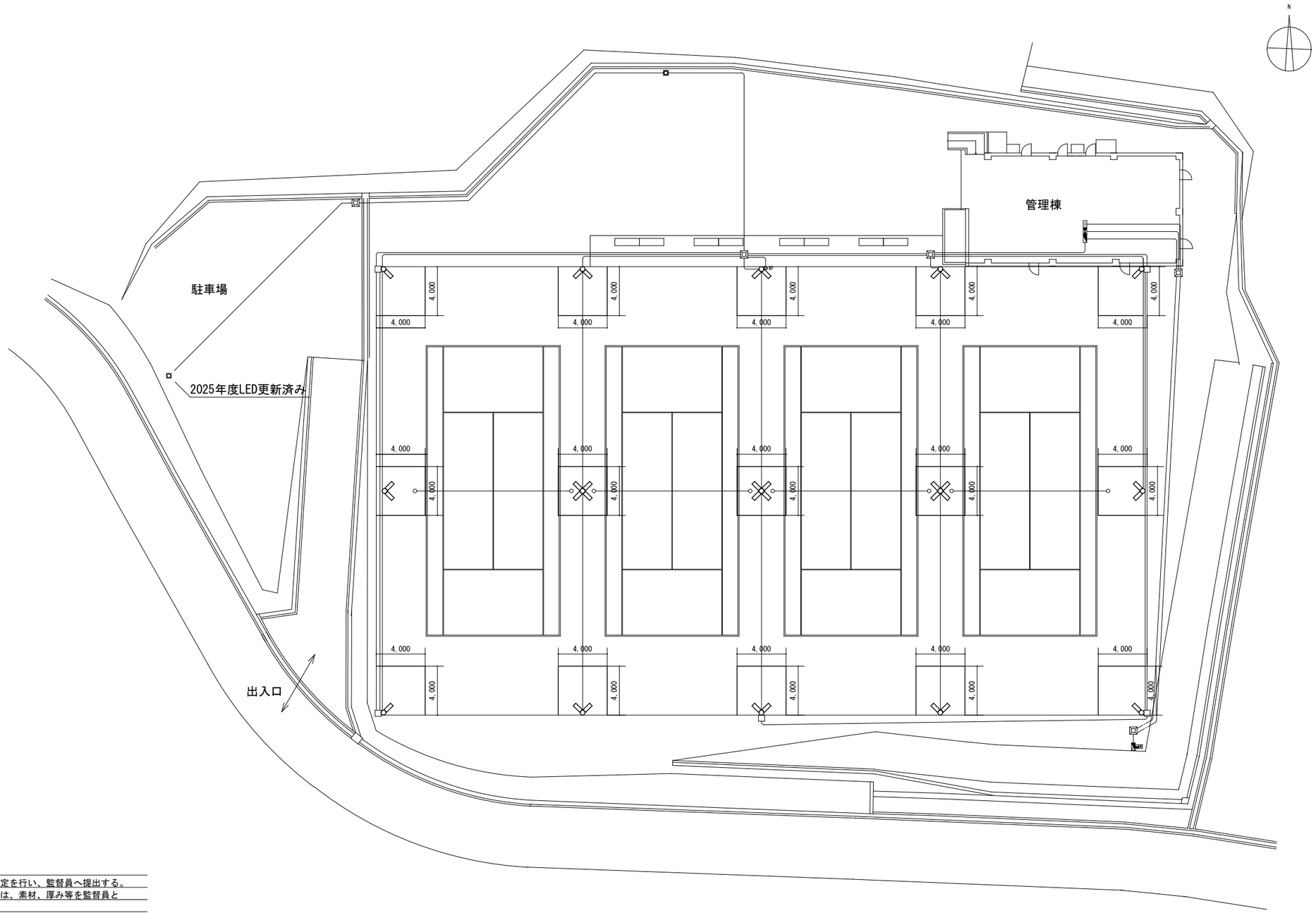
注　記
1）図中内 ╳ 記載箇所は既設撤去更新を示す。但し、配線は流用とする。
2）殺虫器設置箇所は殺虫器も併せて、撤去更新とする。
3）テニスコート内の照明用ポール、基礎は更新とし、その際人工芝及び
　アスファルトの補修も行うものとする。
4）工事に伴い、使用禁止期間がある場合は、監督員と協議の上、
　施設管理者及び担当課へ報告をする。
5）テニスコート内の照明用ポールの強度計算を行い、監督員と協議の上
　施工する。
6）ハッチングで囲っている箇所は、人工芝及びアスファルトの補修箇所
　を表す。
7）鋼管ポール内の配線は新設とする。

平面図　S=1/250

（改修前）

| 縮尺率 | A-1：100% |
|---|---|
| | A-2：71% |
| | A-3：50% |

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 工 事 名 | 神辺テニスセンターＬＥＤ照明設備改修工事 | | 福山市建設局建築部設備課 | | | | | | 図面ＮＯ． |
| | 図面名称 | 屋外灯平面図(改修前)縮尺 １/２５０ | ２０２６年 ６月 | 主務 | 課員 | 第1担当次長 | 第2担当次長 | 設備課長 | 建築部長 | E-07 |




| 1灯用+殺虫器 |
|---|
| 4 |

| 2灯用 |
|---|
| 6 |

| 4灯用 |
|---|
| 3 |

注　記

1）テニスコート内は更新後の照度測定を行い、監督員へ提出する。

2）人工芝及びアスファルトの補修時は、素材、厚み等を監督員と協議する。

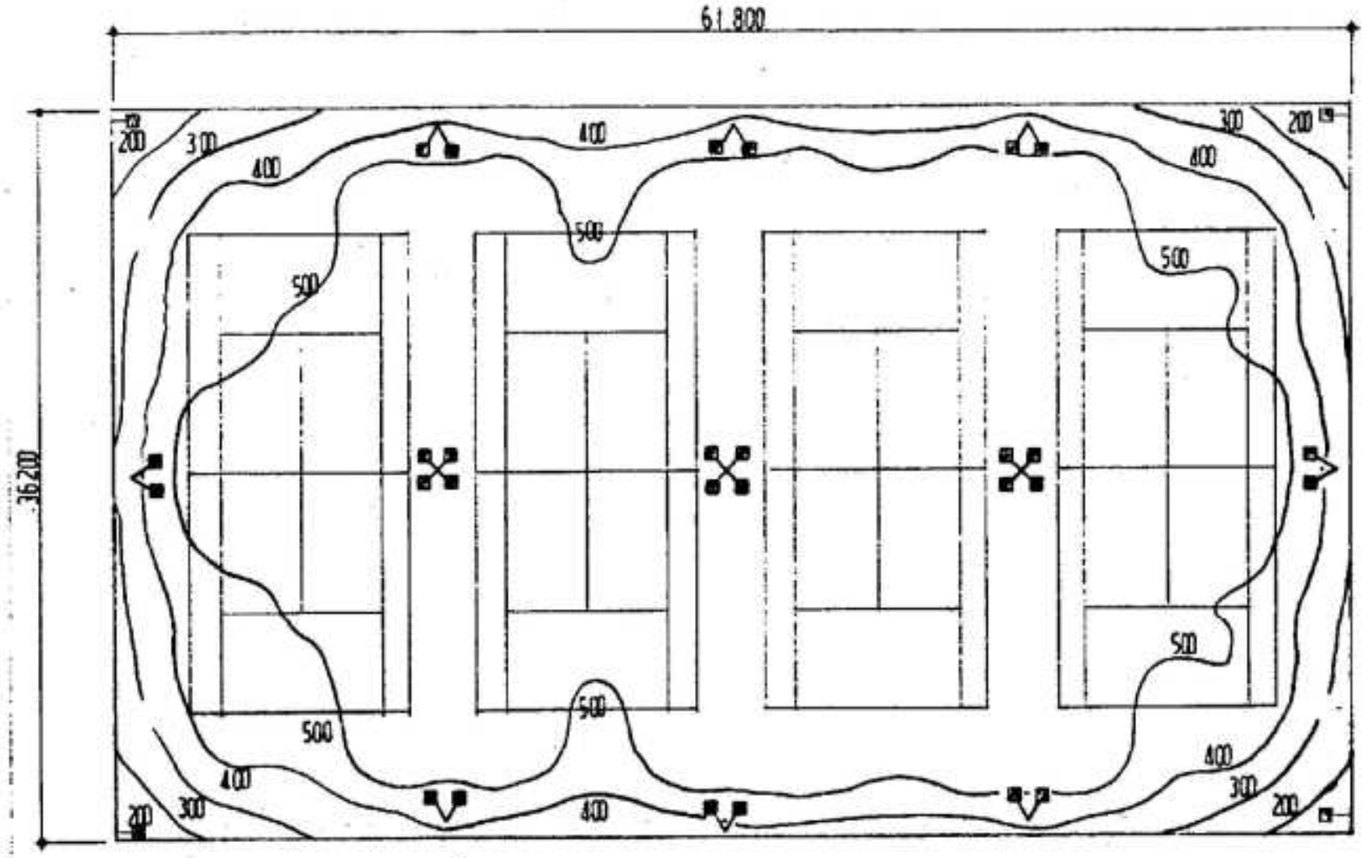
平面図　S=1/250

（改修後）

| 縮尺率 | |
|---|---|
| | A-1：100% |
| | A-2：71% |
| | A-3：50% |

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 工事名 | 神辺テニスセンターＬＥＤ照明設備改修工事 | | 福山市建設局建築部設備課 | | | | | | | 図面ＮＯ． |
| 図面名称 | 屋外灯平面図(改修後)縮尺 １/２５０ | ２０２６年　６月 | 主務 | 課員 | 第1担当次長 | 第2担当次長 | 設備課長 | 建築部長 | | E-08 |

## (2) 水平面照度分布図




5°上向き
器具高さ： 6.0 m

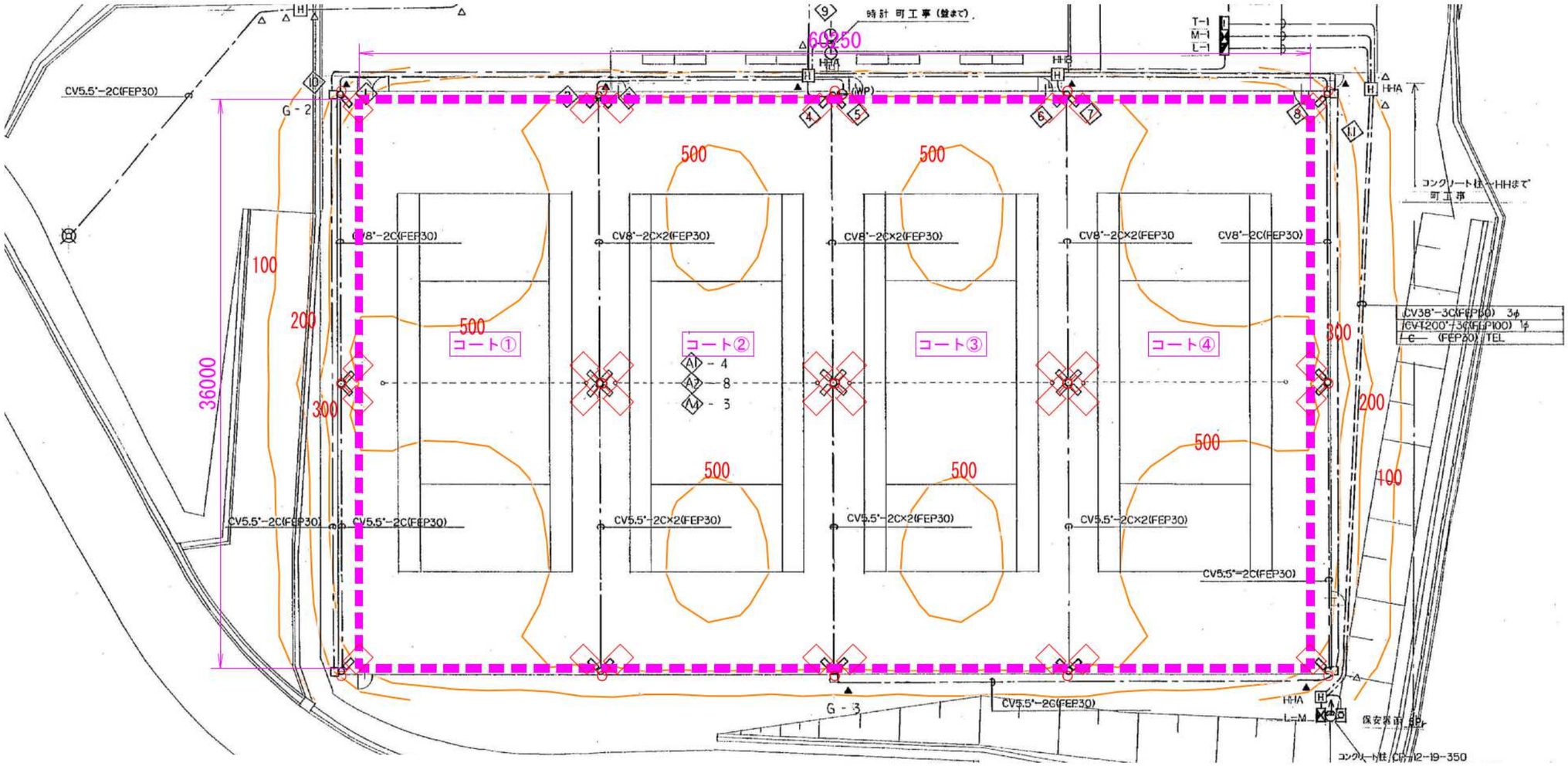
| | 平均 (lx) | 最大 (lx) | 最小 (lx) | 均斉度 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 平均/最大 | 最小/平均 | 最小/最大 |
| 全体 | 543 | 853 | 104 | 0.64 | 0.19 | 0.12 |

| 記号 | 照明器具名 | ランプ名 | 全光束 (lm) | 保守率 | 台数 |
|---|---|---|---|---|---|
| —□ | MT-10027 | MT1000BJ | 115000 | .66 | 32 |

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 工事名 | 神辺テニスセンターＬＥＤ照明設備改修工事 | | 福山市建設局建築部設備課 | | | | | | | 図面ＮＯ． |
| 図面名称 | 照度分布図(改修前) 縮尺 | ２０２６年６月 | 主務 | 課員 | 第1担当次長 | 第2担当次長 | 設備課長 | 建築部長 | | E-09 |

# 照　度　分　布　図　(1)　S=1：150　参　考　図

## (神辺テニスコート　全コート使用時)




凡　例

| | 1灯用 | 2灯用 | 4灯用 |
|---|---|---|---|
| 照明器具形式 | ET40001/NSAJ2 | ET40001/NSAJ2 | ET40001/NSAJ2 |
| アクセサリ | － | － | － |
| 光　　源 | 昼白色LED | 昼白色LED | 昼白色LED |
| 光　束(lm) | 57,400 | 57,400 ×2 | 57,400 ×4 |
| 保　守　率 | 0.93 | 0.93 | 0.93 |
| 灯　高 (m) | 6.0 | 6.0 | 6.0 |
| 器具取付角度 | 27.5° | 27.5° | 27.5° |
| 出　幅 (m) | 0.75 | 0.75 | 0.75 |
| 数　量 (基) | 4 | 8 | 3 |

照度及び計算範囲

| | 全コート |
|---|---|
| 平均照度(lx) | 562 |
| 最小照度(lx) | 310 |
| 最大照度(lx) | 960 |
| 均斉度(最小/平均) | 0.55 |

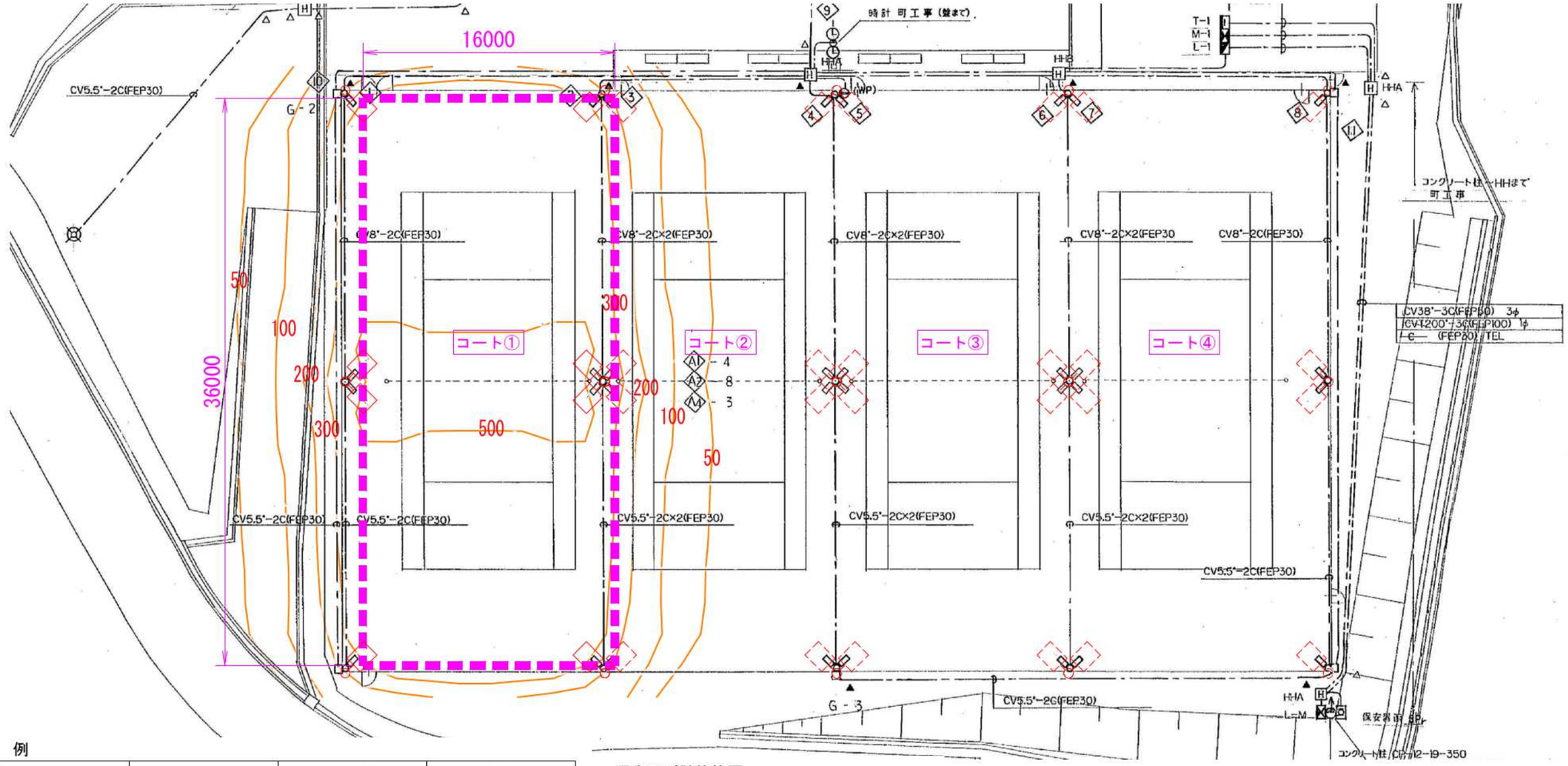
(注記)

1. 曲線上の数値は、維持水平面照度を示す。　単位:(lx)
2. 計算は平面とし、障害物等の影響は考慮しないものとする。

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 工事名 | 神辺テニスセンターＬＥＤ照明設備改修工事 | | 福山市建設局建築部設備課 | | | | | | | 図面ＮＯ． |
| 図面名称 | 照度分布図１参考図(改修後)　縮尺　１：１５０ | ２０２６年６月 | 主務 | 課員 | 第1担当次長 | 第2担当次長 | 設備課長 | 建築部長 | | E-10 |

# 照　度　分　布　図　(2)　　S=1/150　参　考　図

## (神辺テニスコート　1コート使用時)




凡　例

| | 1灯用 | 2灯用 | 4灯用 |
|---|---|---|---|
| 照明器具形式 | ET40001/NSAJ2 | ET40001/NSAJ2 | ET40001/NSAJ2 |
| アクセサリ | − | − | − |
| 光　　源 | 昼白色LED | 昼白色LED | 昼白色LED |
| 光　束(lm) | 57,400 | 57,400 ×2 | 57,400 ×4 |
| 保　守　率 | 0.93 | 0.93 | 0.93 |
| 灯　高 (m) | 6.0 | 6.0 | 6.0 |
| 器具取付角度 | 27.5° | 27.5° | 27.5° |
| 出　幅 (m) | 0.75 | 0.75 | 0.75 |
| 数　量 (基) | 4 | 8 | 3 |

破線の照明シンボルは、消灯を示す。

照度及び計算範囲

| | コート① |
|---|---|
| 平均照度(lx) | 429 |
| 最小照度(lx) | 299 |
| 最大照度(lx) | 783 |
| 均斉度(最小/平均) | 0.69 |

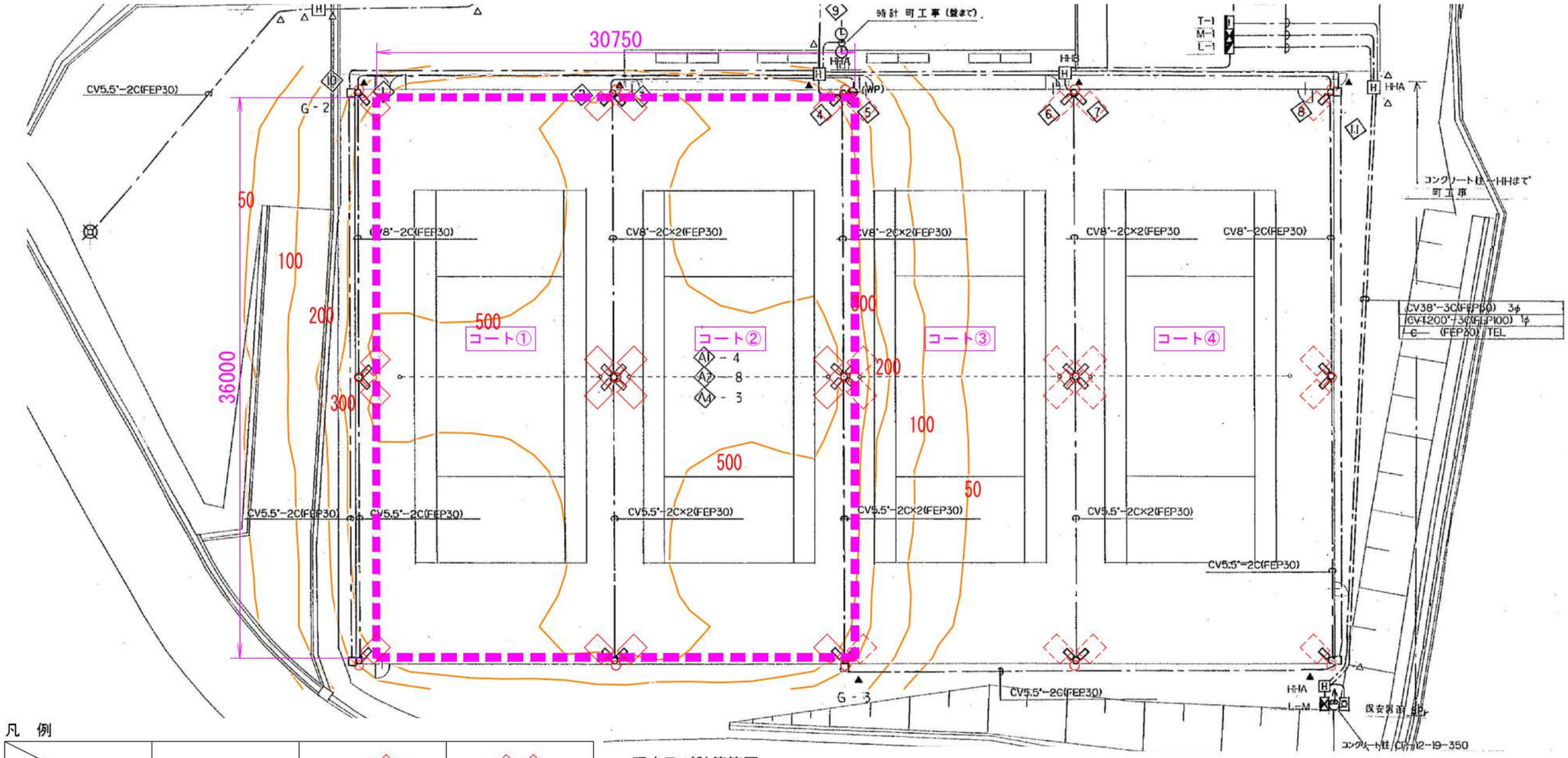
(注記)

1. 曲線上の数値は、維持水平面照度を示す。　単位:(lx)
2. 計算は平面とし、障害物等の影響は考慮しないものとする。

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 工事名 | 神辺テニスセンターＬＥＤ照明設備改修工事 | | 福山市建設局建築部設備課 | | | | | | | 図面ＮＯ． |
| 図面名称 | 照度分布図２参考図(改修後)　縮尺 1/150 | ２０２６年６月 | 主務 | 課員 | 第1担当次長 | 第2担当次長 | 設備課長 | 建築部長 | | E-11 |

# 照　度　分　布　図　(3)　　S=1/150　参　考　図

## (神辺テニスコート　連続した２コート使用時)




凡　例

| | 1灯用 | 2灯用 | 4灯用 |
|---|---|---|---|
| 照明器具形式 | ET40001/NSAJ2 | ET40001/NSAJ2 | ET40001/NSAJ2 |
| アクセサリ | － | － | － |
| 光　　源 | 昼白色LED | 昼白色LED | 昼白色LED |
| 光　束(lm) | 57,400 | 57,400 ×2 | 57,400 ×4 |
| 保　守　率 | 0.93 | 0.93 | 0.93 |
| 灯　高 (m) | 6.0 | 6.0 | 6.0 |
| 器具取付角度 | 27.5° | 27.5° | 27.5° |
| 出　幅 (m) | 0.75 | 0.75 | 0.75 |
| 数　量 (基) | 4 | 8 | 3 |

破線の照明シンボルは、消灯を示す。

照度及び計算範囲

| | コート①＋② |
|---|---|
| 平均照度(lx) | 511 |
| 最小照度(lx) | 250 |
| 最大照度(lx) | 916 |
| 均斉度(最小/平均) | 0.48 |

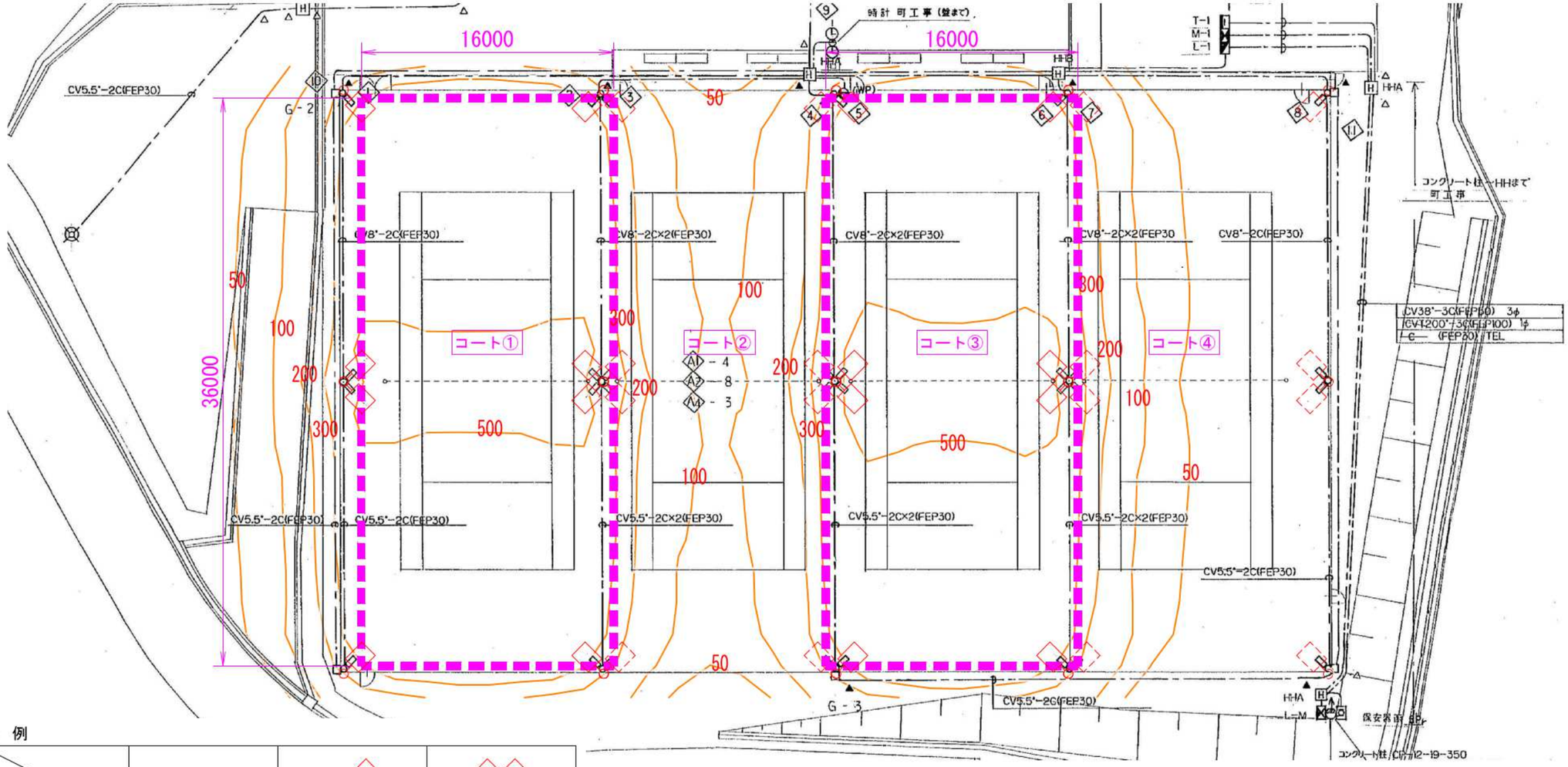
(注記)
1. 曲線上の数値は、維持水平面照度を示す。　単位:(lx)
2. 計算は平面とし、障害物等の影響は考慮しないものとする。

(注記)
1. 曲線上の数値は、維持水平面照度を示す。　単位:(lx)
2. 計算は平面とし、障害物等の影響は考慮しないものとする。

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 工事名 | 神辺テニスセンターＬＥＤ照明設備改修工事 | | | 福山市建設局建築部設備課 | | | | | | 図面ＮＯ． |
| 図面名称 | 照度分布図３参考図(改修後)　縮尺　１/１５０ | | ２０２６年６月 | 主務 | 課員 | 第1担当次長 | 第2担当次長 | 設備課長 | 建築部長 | E-12 |

# 照　度　分　布　図　(4)　　S=1/150　参　考　図

## (神辺テニスコート　連続しない２コート使用時)




凡　例

| | 1灯用 | 2灯用 | 4灯用 |
|---|---|---|---|
| 照明器具形式 | ET40001/NSAJ2 | ET40001/NSAJ2 | ET40001/NSAJ2 |
| アクセサリ | － | － | － |
| 光　　源 | 昼白色LED | 昼白色LED | 昼白色LED |
| 光　束(lm) | 57,400 | 57,400 ×2 | 57,400 ×4 |
| 保　守　率 | 0.93 | 0.93 | 0.93 |
| 灯　高 (m) | 6.0 | 6.0 | 6.0 |
| 器具取付角度 | 27.5° | 27.5° | 27.5° |
| 出　幅 (m) | 0.75 | 0.75 | 0.75 |
| 数　量 (基) | 4 | 8 | 3 |

破線の照明シンボルは、消灯を示す。

照度及び計算範囲

| | コート① | コート③ |
|---|---|---|
| 平均照度(lx) | 435 | 454 |
| 最小照度(lx) | 301 | 250 |
| 最大照度(lx) | 789 | 878 |
| 均斉度(最小/平均) | 0.69 | 0.55 |

(注記)
1. 曲線上の数値は、維持水平面照度を示す。　単位:(lx)
2. 計算は平面とし、障害物等の影響は考慮しないものとする。

(注記)
1. 曲線上の数値は、維持水平面照度を示す。　単位:(lx)
2. 計算は平面とし、障害物等の影響は考慮しないものとする。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 工事名 | 神辺テニスセンターＬＥＤ照明設備改修工事 | 福山市建設局建築部設備課 | 図面ＮＯ. |
| 図面名称 | 照度分布図４参考図(改修後)　縮尺 1/150　2026年6月 | 主務 / 課員 / 第1担当次長 / 第2担当次長 / 設備課長 / 建築部長 | E-13 |

Ver.2512

# テニスコート舗装特記仕様書

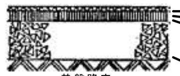
I　工事仕様

| 章 | 項　目 | 特　記　事　項 |
|---|---|---|
| ① 土工事 | ①根　切　底 | ⊙ 高さの確認をする |
| | 2 残 土 処 分 | ⊙ 底慣らしを行う<br>⊙ 構外搬出適切処分<br>・ 構内敷ならし |
| 2 地業工事 | ①凍 上 抑 制 層 | ⊙ 設けない　・ 設ける<br>使用材料　・ 山砂　・ 海砂　・ クラッシャーラン(40～0)<br>仕上面からの深さ　cm |
| | ②割石、砂利地業 | 種別　⊙ 砂利　・ 砕石　・ 割り石 |
| | 3 捨コンクリート地業 | コンクリートの設計基準強度　厚さ　・ 50mm |
| 3 鉄筋工事 | ①鉄　筋 | ⊙ 異形　・ 丸鋼<br>・ A 又は B類 |
| 4 コンクリート工事 | ①レディーミクストコンクリートの種別 | ⊙ Ⅰ類　Ⅱ類 |
| | ②セメントの種類 | ⊙ 普通ポルトランドセメント　又は　混合セメントのA種 |
| | ③骨　材 | JIS A5308 により安全と認められた骨材を使用する。 |
| | ④コンクリートの設計基準強度 | ⊙ 180 kg/cm² |
| | 5 現場練コンクリート | 特記による |
| 5 鉄骨工事 | 1 鋼　材 | 材質　・ SS41　使用箇所<br>・ SSC41　使用箇所 |
| | 2 高 力 ボ ル ト | ・ JIS 高力ボルト　・ 2種 (F10T)<br>・ 特殊高力ボルト　・ 2種 (F10T)<br>・ 溶融亜鉛メッキ高力ボルト　・ 1種 (F8T) Aに準ずる |
| | 3 ターンバックル | JIS A5540 による建築用ターンバックル |
| | 4 鉄面の素地ごしらえ | 種別　・ A種　・ B種　・ C種 |
| | 5 さび止め塗料 | 種別　・ A種　・ B種　・ C種 |
| | 6 アンカーボルトの保持及び埋込工法 | 種別　・ A種　・ B種　・ C種 |
| 6 ブロック工事 | 1 空洞コンクリートブロックの種別 | 種別　普通　・ A種　・ B種　・ C種 |
| | 2 鉄　筋 | 異形　・ A種 SD30　・ B種 SD30<br>丸鋼　・ A種　・ B種 |

### 7 舗装工事

①舗 装 種 別

・ 非透水型粗粒度アスファルトコンクリート

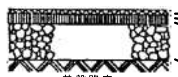


表層材（人工芝　・弾性系舗装材）
中層 アスファルトコンクリート　仕上厚 50mm
基盤路床
下層 粒度調整砕石締固め厚　mm

・ 非透水型粗粒度アスファルトコンクリート

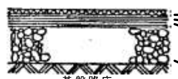
表層材（人工芝　・弾性系舗装材）
中層 アスファルトコンクリート 2層　仕上厚 30 + 40 mm
基盤路床
下層 粒度調整砕石締固め厚　mm

⊙ 非透水型粗粒度アスファルトコンクリート（TOP13 透水含剤）



表層材（⊙ 砂入人工芝　・ 弾性系舗装材）
中層 アスファルトコンクリート　仕上厚 50 mm
基盤路床
下層 クラッシャーラン締固め厚　150 mm

・ 透水型粗粒度アスファルトコンクリート（TOP13 透水含剤）



表層材（・ 砂入人工芝　・ 弾性系舗装材）
中層 アスファルトコンクリート　仕上厚 50 mm
基盤路床
下層 火山砂利 締固め厚　mm
（又は火山砂利 + 粒度調整砕石）

②路 盤 材 料

| 下層路盤材料 | | | |
|---|---|---|---|
| ⊙ クラッシャーラン | C-30 | JIS A5001 |
| ・ 粒度調整砕石 | C-40 ～ 0 | 同上 |
| ・ 火山砂利 | 40 ～ 0 | |
| ・ 高炉スラブ | CS-40 | JIS A5015 |

透水性舗装に用いる材料は、透水性脳の高いものとする

③舗 装 材 料 等

中層舗装種別　・粗粒度アスファルトコンクリート　・ 一般地域 １３　・ 寒冷地域 １３Ｆ
⊙密粒度アスファルトコンクリート　⊙ 一般地域 １３　・ 寒冷地域 １３Ｆ

⊙ アスファルトコンクリート材料

| 材　料 | 表幹比重 | 吸水量 % | すりへり減量 |
|---|---|---|---|
| 粗骨材 | 2.5 以上 ( JIS A1110 ) | 3.0 以上 ( JIS A1110 ) | 3.0 以上 ( JIS A1121 ) |

| 名称 ＼ 粒度範囲 | | 5 | 2.5 | 0.6 | 0.3 | 0.15 | 0.074 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | ふるい呼名 → 通過量百分率 | | | | | | |
| 天然砂 スクリーニングス | F -2.5 / F 2.5-0 | 100 | 85-100 | 25-55 | 15-40 | 7-28 | 0-20 |

・ アスファルト混合物の種類別一覧表

| 材料 混合物の種類 | 粗粒度アスコン | 密粒度アスコン | 細粒度アスコン | 透水性アスコン |
|---|---|---|---|---|
| 最大粒径 (mm) | ２０ | １３ | １３ | １３ |
| 仕上厚 (mm) | 40～60 | 30～50 | 30～50 | 40～50 |
| アスファルト量(%) | 4.5～6 | 5～7 | 6～8 | 3.5～5.5 |
| アスファルト針入度 | 40～60 | | 60～80 | 80～100 |
| 透水係数(cm/sec) | | | | 1×10⁻²以上 |

④工　法

イ） アスファルトコンクリート下層路盤

下層路盤工法

| | |
|---|---|
| 路盤仕上厚 | 締固め仕上厚150mm以上　但し200mmを超える場合は2層転圧とする。 |
| 仕上精度 | 3m 定規で ±15mm以内 |
| 敷均機器 | ブルドーザ又は3.1m級モータグレーダ |
| 締固め機器 | 8ｔ～15ｔ級タイヤローラ　8ｔ～10ｔ級マカダムローラ |
| 補助機 | 不陸補正用砕石C-20 |

ロ） アスファルトコンクリート中層路盤

中層路盤工法

| 舗装種別 | 舗装厚 mm | ｱｽﾌｧﾙﾄ量 0/wt | 透水率 cm/sec | 細粒度 ｱｽﾌｧﾙﾄﾌｨﾆｯｼｬ | 細粒度 ﾏｶﾀﾞﾑﾛｰﾗ | 細粒度 ﾀｲﾔﾛｰﾗ | 平坦性試験 3m 定規 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 非透水性密粒度アスファルトコンクリート | 30+40 | 5～7 | — | 2.5～5.0m | 10～12ｔ機 | 8～10ｔ機 | 5 mm |
| 非透水性粗粒度アスファルトコンクリート | 50 | 4.5～6 | — | 2.5～5.0m | 10～12ｔ機 | 8～10ｔ機 | 5 mm |
| 透水性粗粒度アスファルトコンクリート | 50 | 3.5～5.5 | 1×10⁻⁴ | 2.4～5.0m | 2.5～ (振動)機 | — | 5 mm |

注意事項　1) アスファルトでの不陸修正は行わない。
2) 透水性舗装の温度管理はとくに注意する。
3) 寒冷地の配合計画はとくに注意する。

⑤表 層 材 料

・ 人工芝　ｲ) 葉茎　・ ナイロン
・ ポリプロピレン
形状　カール状 5mm
性能　JIS L-1021による試験
摩擦回数
2000回時／摩耗減量500mg以内
ﾛ) 基布　ポリプロピレン
ﾊ) パッキング剤　合成ゴム発泡体(2～10mm)

⊙ 砂入人工芝　ｲ) 葉茎　⊙ ナイロン
・ ポリプロピレン
形状　芝葉状 18～19mm
性能　パイル織度 5500～6500デニール
JIS L-1021による試験
摩擦回数
3000回時／摩耗回数700mg以内
ﾛ) 基布　ポリプロピレン
ﾊ) パッキング剤　合成ゴム発泡体(2～10mm)

・ 弾性系舗装材　ｲ) 加硫ゴムチップウレタン混合剤
ﾛ) 粒度 1～3mm 空隙率 30%
ﾊ) 仕上厚 7～12mm
ﾆ) 表面仕上(ライン共)　ウレタン樹脂塗布
ﾎ) 樹脂系トップコート塗布　塗布厚 1～3mm

弾性系舗装材　現場施工品標準物性値（厚さ8mmの場合）

| 項目 | 標準値 | |
|---|---|---|
| 引張強度 | 6.5kg/cm² | JIS K-6301 |
| 伸　び | 70% | JIS K-6301 |
| 比　重 | 0.7 | |
| 耐摩耗性 | 30mg | JIS K-6902 テーパー摩耗テストCS-17荷重1kg |
| 反発弾性 | 35% | JIS K-6301 |
| 永久歪 | 96%復元 | ASTM D-395 B法 50%圧縮×72hrs 後(23℃) |
| 耐候性 | 異常なし | JIS A-1415 WS型 ウェザーまーたー1000時間ばくろ |

⑥表 層 工 法

・ 人工芝　⊙ 砂入人工芝
⊙ 非透水型　・ 全面接着　⊙ 部分接着
・ 透水型
上記によるほかは製造所指定工法により施工する。
・ 接合方法　・ ジョイントテープ　・ 縫合
外周部は完全に巻込み式とする。
・ 充てん砂 ｲ) 特殊調整珪砂 14～16mm
JIS A1121による(すりへり試験)
減量が2.5%以下とする。
ﾛ) 補充用特殊調整
珪砂10袋(25kg入り)／1コートを納入する。
・ ライン　・ 人工芝　・ 白色 50mm幅
・ 砂入人工芝　・ 黄色 50mm幅
※ライン芝埋込　・ シートタイプ(工場生産品)
上記によるほかは製造所指定工法により施工する
・ ライン　ウレタン系樹脂塗装　白色 50mm幅

### 8 付帯工事

7 付 帯 施 設

・ ネットポスト　型　式　丸型　着脱式
材　質　ポストは SUS304 市販品とする。
センターガイド　材　質　SUS304 固定式　市販品とする。
・ 審 判 台　市販品とする。
多雪地域は取外し式　その他は固定式とする。
・ スコアボード　市販品とし、必要に応じ照明付とする。
・ ベ ン チ　市販品とし、塗装は焼付塗装とする。
・ 市販品によらない場合は特記による
・ 水 呑 場　・ 市販品とする。
・ 市販品によらない場合は特記による。

### 9 排水工事

8 コ ー ト 排 水

排 水 形 式　・ 暗 渠 排 水　・ 表 面 排 水
・ 暗渠排水　種別　※ 塩化ビニル樹脂性羽根型管
・ その他
製造所指定使用により施工する。
その他による場合は図面表示による。
・ 表面排水　ｲ) 排水管　・ 遠心力鉄筋コンクリート管(JIS A5303-79)
・ 硬質塩化ビニル管(JIS K6741-84)
ﾛ) 開渠　・ 鉄筋コンクリートU型(JIS A5305-82)
・ その他
・ 鉄筋コンクリートU型ふた(JIS A5334-82)
・ その他のふた　・ 特記による
・ 排水ます　・ 渠水ます　・ 既製品　・ 現場成形

### 10 囲障工事

9 防球ネットフェンス

材　料　ｲ) ポスト等の主要材　※ 金属製　高さ 3m
・ 遠心力鉄筋コンクリート柱
（ウレタン樹脂塗装）
高さ　m
ﾛ) ネット　・ 金属製　網目 40mm
・ ポリエチレン　4000/40本 網目25mm目
ﾊ) 取付方式　・ 固定式　・ 巻上、巻下式
・ 横引式　・ 取外し式
支柱等の主要材ネット及びネットフェンス全体の
安全性に対する県当初を提出する。

# 参考数量書

§工事名称　　神辺テニスセンターＬＥＤ照明設備改修工事

§工事場所　　福山市神辺町字湯野１８５９番地１

## 特記事項

1　この数量書は、福山市建設工事請負契約約款１条に定める「設計図書」ではなく参考数量です。従って、契約後の変更等を含意するものではありません。

2　数量の算出は次の基準によっています。

※「建築数量積算基準・同解説」　（建築工事積算研究会制定）

※「建築設備数量積算基準・同解説」　（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）

# 内　訳　書

工事名称　　神辺テニスセンターLED照明設備改修工事

工事場所　　福山市神辺町字湯野１８５９番地１

【工事概要】

電気設備工事　一式

| 名　　称 | 数　　量 | 単位 | 金　　額 | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|
| 直接工事費 | | | | |
| 電気設備工事 | 1 | 式 | | |
| 計 | | | | |
| 共通費 | | | | |
| 共通仮設費 | 1 | 式 | | |
| 現場管理費 | 1 | 式 | | |
| 一般管理費等 | 1 | 式 | | |
| 計 | | | | |
| | | | | |
| 工事価格 | 1 | 式 | | |
| 消費税等相当額 | 1 | 式 | | 消費税率 10 % |
| 工事費 | 1 | 式 | | |
| | | | | |
| 調査基準価格 | 1 | 式 | | |
| 調査基準価格の100/110 | 1 | 式 | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

| 名　　称 | 数　　量 | 単位 | 金　　額 | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|
| 電気設備工事 | 1 | 式 | | |
| 計 | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

| 名　　称 | 数　　量 | 単位 | 金　　額 | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|
| 神辺テニスセンター | 1 | 式 | | |
| 計 | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

神辺テニスセンター

| 名　　称 | 数　　量 | 単位 | 金　　額 | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|
| 電灯設備 | 1 | 式 | | |
| 発生材処理 | 1 | 式 | | |
| 計 | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

神辺テニスセンター

| 科　目　名　称 | 中　科　目　名　称 | 数　量 | 単位 | 金　　額 | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 電灯設備 | 電灯分岐 | 1 | 式 | | |
| 計 | | | | | |
| 発生材処理 | | 1 | 式 | | |
| 計 | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

神辺テニスセンター　電灯設備　電灯分岐

| 名　称 | 摘　要 | 数　量 | 単位 | 単　価 | 金　額 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| LED投光器 | 昼白色5000K 定格光束57400lm Ra70 | 32 | 台 | | | |
| 電撃殺虫器 | 取付金具付 | 4 | 台 | | | |
| 段付きポール | 1灯用 メッキ塗装 | 4 | か所 | | | |
| 段付きポール | 2灯用 メッキ塗装 | 8 | か所 | | | |
| 段付きポール | 4灯用 メッキ塗装 | 3 | 本 | | | |
| ケーブル | | 1 | 式 | | | 別紙 00-0001 |
| 電線管 | | 1 | 式 | | | 別紙 00-0002 |
| 土工事 | | 1 | 式 | | | 別紙 00-0003 |
| 撤去 | | 1 | 式 | | | 別紙 00-0004 |
| 高所作業車 | 8～10m | 30 | 日 | | | |
| ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ運転(油圧伸縮ｼﾞﾌﾞ型) | 4.9t吊り　ｵﾍﾟﾚｰﾀ付き 賃料 長期 | 30 | 日 | | | |
| ﾌｪﾝｽ取外し再取付 | | 1 | 式 | | | |
| 計 | | | | | | |

神辺テニスセンター　発生材処理

| 名　称 | 摘　要 | 数　量 | 単位 | 単　価 | 金　額 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 産廃処分費 | | 1 | 式 | | | 別紙 00-0005 |
| 産廃運搬費 | | 1 | 式 | | | 別紙 00-0006 |
| 計 | | | | | | |

| 神辺テニスセンター | 電灯設備 | | | 電灯分岐 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 名　称 | 摘　要 | 数　量 | 単位 | 単　価 | 金　額 | 備　考 |
| ケーブル | | 1 | 式 | | | 別紙 00-0001 |
| EM-CEｹｰﾌﾞﾙ | 3.5mm2- 2C 管内 | 132.5 | m | | | |
| 計 | | | | | | |
| | | | | | | |
| 電線管 | | 1 | 式 | | | 別紙 00-0002 |
| 波付硬質合成樹脂管(FEP) | (30) | 33 | m | | | |
| カップリング | FEP用ジョイント (30) | 15 | 個 | | | |
| ベルマウス | FEP用（ねじ込み式） (30) | 15 | 個 | | | |
| 計 | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

神辺テニスセンター　電灯設備　電灯分岐

| 名　称 | 摘　要 | 数　量 | 単位 | 単　価 | 金　額 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 土工事 | | 1 | 式 | | | 別紙 00-0003 |
| 人工芝 | パイル長さ 19mm<br>1か所 4m×4m | 240 | ㎡ | | | |
| 透水性ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装歩道 | A-3-10-10 特に狭い場所 人力<br>ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物･路盤材共<br>ｸﾗｯｼｬﾗﾝ | 240 | ㎡ | | | |
| 根切り(機械) | ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.13m3<br>排出ｶﾞｽ対策型 油圧式ｸﾛｰﾗ型 | 71 | m3 | | | |
| 埋戻し | 機 械 ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.13m3<br>排出ｶﾞｽ対策型 油圧式ｸﾛｰﾗ型 | 71 | m3 | | | |
| 切込砕石 | 再生材 | 2 | m3 | | | |
| ｺﾝｸﾘｰﾄ | 21-18-20 | 11 | m3 | | | |
| ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間 | 小型構造物　人力打設<br>工作物の基礎程度　S15～S18 | 11 | m3 | | | |
| 異形棒鋼 | SD295 D10 | 0.38 | t | | | |
| 鉄筋加工組立 | 小型構造物 | 0.38 | t | | | |
| 鉄筋運搬費<br>(基準単価) | 4ｔ車　30km程度 | 0.38 | t | | | |
| 型枠 | | 53 | ㎡ | | | |
| 型枠運搬費<br>(基準単価) | 4ｔ車　30km程度 往復 | 53 | ㎡ | | | |
| 計 | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

神辺テニスセンター　電灯設備　電灯分岐

| 名　称 | 摘　要 | 数　量 | 単位 | 単　価 | 金　額 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 撤去 | | 1 | 式 | | | 別紙 00-0004 |
| HID灯器具<br>撤去 | 投光器　1000W以下<br>再使用しない | 16 | 個 | | | |
| 既設殺虫器<br>撤去 | | 4 | 個 | | | |
| 既設鋼管柱<br>撤去 | 8m | 15 | 本 | | | |
| 600V絶縁電線<br>撤去 | 3.5mm2 × 1本 再使用しない | 132.5 | m | | | |
| ｺﾝｸﾘｰﾄ撤去 | 無筋　ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾚｰｶ 集積共 | 18 | m3 | | | |
| 計 | | | | | | |

神辺テニスセンター　発生材処理

| 名　称 | 摘　要 | 数　量 | 単位 | 単　価 | 金　額 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 産廃処分費 | | 1 | 式 | | | 別紙 00-0005 |
| 産廃処分費 | 鉄くず(ｽｸﾗｯﾌﾟ)<br>ﾍﾋﾞｰH3 | 2,025 | kg | | | |
| 産廃処分費 | 銅くず(ｽｸﾗｯﾌﾟ)<br>2号銅線 | 3.7 | kg | | | |
| 産廃処分費 | ﾅｹﾞｯﾄ処理 | 5 | kg | | | |
| 産廃処分費 | ｺﾝｸﾘｰﾄがら<br>鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ | 18 | m3 | | | |
| 産廃処分費 | 特定建設資材以外<br>金属くず・ｶﾞﾗｽくず | 285 | kg | | | |
| 産廃処分費 | 廃ﾌﾟﾗ | 2 | kg | | | |
| 産廃処分費 | ﾗﾝﾌﾟ | 9 | kg | | | |
| 計 | | | | | | |
| | | | | | | |
| 産廃運搬費 | | 1 | 式 | | | 別紙 00-0006 |
| 産廃運搬費 | ｽｸﾗｯﾌﾟ(神辺テニス) | 1 | 式 | | | |
| 計 | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

| 名　　称 | 摘　　要 | 数　量 | 単位 | 単　価 | 金　　額 | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 情報共有システム費 | | 1 | 式 | | | |
| 計 | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |